会 告 目 次

IPSJ カレンダー …… 2
平成 8 年度第 38 回通常総会の開催について …… 5
研究発表会開催通知 …… 6
第 104 回人工知能研究会 …… 6
第 80 回グラフィクスと CAD 研究会 …… 6
第 72 回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 …… 6
第 110 回計算機アーキテクチャ研究会 …… 7
第 76 回マルチメディア通信と分散処理研究会 …… 7
第 109 回ソフトウェア工学研究会 …… 9
第 30 回人文科学とコンピュータ研究会 …… 9
第 26 回情報メディア研究会 …… 10
第 59 回情報システム研究会 …… 10
第 108 回データベースシステム研究会 …… 10
第 7 回数理モデル化と問題解決研究会 …… 11
第 100 回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 …… 11
第 66 回ヒューマンインタフェース研究会 …… 12
第 1 回分散システム運用技術研究会 …… 12
第 61 回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 …… 13
第 80 回設計自動化研究会 …… 13
第 40 回コンピュータと教育研究会 …… 13
第 15 回音楽情報科学研究会 …… 14
第 1 回デジタル・ドキュメント研究会 …… 14
第 11 回音声言語情報処理研究会 …… 15
第 113 回自然言語処理研究会 …… 15
第 51 回アルゴリズム研究会 …… 16
第 7 回プログラミング研究会 …… 16
平成 8 年度研究会登録について …… 21
平成 8 年度研究発表会開催予定 …… 22
平成 8 年度研究会のお知らせ …… 25
研究発表会参加・発表申込方法・研究報告について …… 28
平成 8 年度研究会登録申込書 …… 29
研究会発表申込書 …… 30
「研究グループ」について …… 31
「分散システム運用技術研究会」発足のお知らせ …… 32
「デジタル・ドキュメント研究会」発足のお知らせ …… 33
平成 8 年度シンポジウム等行事予定一覧 …… 34
情報処理学会「行事」申込書 …… 35
「次世代ボーダレスメディアの新展開と標準化シンポジウム」参加者募集 …… 36
1996 年並列処理シンポジウム　JSPP'96 参加者募集 …… 37
「連続セミナー 96」参加者募集 …… 41
夏のシンポジウム 2「コンピューティングの歴史」参加募集 …… 42
第 52 回全国大会シンポジウム・インダストリアルセッション論文集について …… 43
第 52 回全国大会（会場：電気通信大学）報告 …… 44
Call for Papers ASP-DAC'97 …… 45
平成 8 年度情報処理学会組織構成 …… 51
平成 8 年度情報処理学会事務局組織 …… 52

支部だより …… 46
雑報 …… 47
人 材 募 集 …… 48
会 議 案 内 …… 42, 44

IPSJ カレンダー

★：共催

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
第41回情報学基礎研究会	情報処理学会	平成8年 4月18日（木）	当日のみ	37-3 5p	研
第17回グループウェア研究会	情報処理学会	4月26日（金）	当日のみ	37-3 5p	研
第104回人工知能研究会	情報処理学会	5月14日（火）	当日のみ	37-4 6p	研
第80回グラフィクスとCAD研究会	富士通クロスカルチャーセンター	5月14日（火）	当日のみ	37-4 6p	研
第72回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会	立命館大	5月15日（水）	当日のみ	37-4 6p	研
第110回計算機アーキテクチャ研究会	立命館大	5月16日（木）	当日のみ	37-4 7p	研
第76回マルチメディア通信と分散処理研究会	東北大	5月16日（木） 17日（金）	当日のみ	37-4 7p	研
★ 1996年「工学教育」連合講演会	東京理科大	5月17日（金）	定員になり次第	37-3 4p	国
第109回ソフトウェア工学研究会	松下電器産業	5月17日（金）	当日のみ	37-4 9p	研
第30回人文科学とコンピュータ研究会	会津大	5月17日（金）	当日のみ	37-4 9p	研
第26回情報メディア研究会	横浜・神奈川総合情報センター	5月17日（金）	当日のみ	37-4 10p	研
第38回通常総会	ニューサテライトホテル（芝浦）	5月20日（月）		37-3 4p	総
第59回情報システム研究会	情報処理学会	5月21日（火）	当日のみ	37-4 10p	研
第108回データベースシステム研究会	慶應義塾大	5月23日（木）	当日のみ	37-4 10p	研
第7回数理モデル化と問題解決研究会	情報処理学会	5月23日（木）	当日のみ	37-4 11p	研
第100回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	東京大	5月23日（木） 24日（金）	当日のみ	37-4 11p	研
第66回ヒューマンインタフェース研究会	湘南国際村総合研究大学院大	5月24日（金）	当日のみ	37-4 12p	研
第1回分散システム運用技術研究会	東京大	5月24日（金）	当日のみ	37-4 12p	研
第61回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	新情報処理開発機構	5月24日（金）	当日のみ	37-4 13p	研
第80回設計自動化研究会	情報処理学会	5月24日（金）	当日のみ	37-4 13p	研
第40回コンピュータと教育研究会	慶應義塾大	5月24日（金）	当日のみ	37-4 13p	研
第15回音楽情報科学研究会	広島文化女子短期大	5月25日（土） 26日（日）	当日のみ	37-4 14p	研
第1回デジタル・ドキュメント研究会	NTTデータ通信	5月27日（月）	当日のみ	37-4 14p	研

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
第11回音声言語情報処理研究会	東京農工大	5月27日（月） 28日（火）	当日のみ	37-4 14p	研
第113回自然言語処理研究会	東京農工大	5月28日（火） 29日（水）	当日のみ	37-4 15p	研
第51回アルゴリズム研究会	情報処理学会	5月29日（水）	当日のみ	37-4 16p	研
第7回プログラミング研究会	情報処理学会	5月31日（金）	当日のみ	37-4 16p	研
次世代ボーダレスメディアの新展開と標準化シンポジウム	早稲田大	6月10日（月）	5月24日（金）	37-4 36p	研
連続セミナー96 インターネット技術の最新動向と活用事例	工学院大	6月12日（水）		37-4 41p	事
1996年並列処理シンポジウム	早稲田大	6月18日（火） ～20日（木）	5月31日（金）	37-4 37p	研
オブジェクト指向'96シンポジウム	早稲田大	7月8日（月） ～9日（火）		37-1 11p	研
画像の認識・理解シンポジウム	奈良県新公会堂	7月17日（水） ～19日（金）		36-10 21p	研
連続セミナー96 オブジェクト指向技術によるソフトウェア開発	工学院大	7月19日（金）		37-4 41p	事
夏のシンポジウム コンピューティングの歴史	文部省	7月23日（火） ～25日（木）	5月31日（金）	37-4 42p	事
DAシンポジウム'96	西浦温泉	8月29日（木） ～31日（土）		37-2 35p	研
第53回全国大会	大阪工大	9月4日（水） ～6日（金）	（講演申込締切） 5月31日（金）	37-3 8p	事
連続セミナー96 新しいオフィスのためのコラボレーションとコミュニケーション	工学院大	9月20日（金）		37-4 41p	事
連続セミナー96 コンピュータ技術とエンタテーメント	工学院大	11月29日（金）		37-4 41p	事
連続セミナー96 パーソナルコンピューティングの最新動向	工学院大	平成9年 1月24日（金）		37-4 41p	事
連続セミナー96 電子商取引の現状と将来	工学院大	3月28日（金）		37-4 41p	事

【国際会議】

行事名	会場名	開催日	照会先	掲載ページ	担当
1996 Int'l Conference on Parallel and Distributed Systems (ICPADS '96)	ホテルストラーダ新宿	平成8年 6月3日（月） ～6日（木）	事務局	37-3 16p	国
1996年東南アジア地域コンピュータ連合国際会議 (SEARCC '96)	バンコク（タイ）	7月4日（木） ～7日（日）	事務局		国
IFIP Congress 96-14th World Computer Congress (IFIPWCC '96)	キャンベラ（オーストラリア）	9月2日（月） ～6日（金）	事務局	36-5 8p	国
Intl' Conference on Advances in Production Management Systems (APMS '96)	京都国際会館	11月4日（月） ～6日（水）	事務局		国

【論 文 募 集】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
ソフトウェア開発のためのドメイン分析・モデリング技術シンポジウム	上智大	平成8年 9月12日（木） ～13日（金）	5月13日（月）	37-3 17p	研
Seventh Annual International Symposium on Algorithms and Computation (ISAAC)	大阪電気通信大	12月16日（月） ～18日（水）	5月15日（水）	37-3 18p	研
The Third International Symposium on Autonomous Decentralized Systeml (ISADS 97)	ベルリン（ドイツ）	平成9年 4月9日（水） ～11日（金）	7月15日（月）	37-3 19p	国

【支 部】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載ページ	担当
北海道支部 情報処理北海道シンポジウム	北海道大	平成8年 4月18日（木） ～19日（金）		37-4 46p	北
北海道支部 支部総会	北海道大	4月19日（金）		37-4 46p	北
東北支部 支部総会	東北大	4月24日（水）		37-4 46p	東
東海支部 講演会	愛知工業大	4月24日（水）		37-4 47p	海
東海支部 支部総会	愛知厚生年金会館	5月10日（金）		37-4 46p	海
中国支部 支部総会	中国電力（株）	5月10日（金）		37-4 46p	中
四国支部 支部総会	徳島厚生年金会館	5月10日（金）		37-4 46p	四
九州支部 支部総会	NTT データ通信	5月10日（金）		37-4 46p	九
関西支部 支部総会	INS プラザ	5月15日（水）		37-4 46p	西
北陸支部 支部総会	福井大	5月17日（金）		37-4 46p	陸
東北支部 平成8年度電気関係学会東北支部連合大会	東北学院大	8月27日（火） 28日（水）	6月24日（金） 必着	37-4 47p	北

注1）カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています.
注2）研究会の発表申込締切は開催日の90日前です．年間予定表および研究会発表申込書は2，4，8月号に掲載されています.
注3）担当欄の記号は次のとおりです．研：研究会係，事:事業係，国:国際係，編:編集係，総:総務係，経:経理係，会:会員係，北:北海道支部，東:東北支部，海:東海支部，陸:北陸支部，西:関西支部，中:中国支部，四:四国支部，九:九州支部.
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします.

平成8年度　第38回通常総会の開催について

平成8年度通常総会を下記により開催いたします．ぜひご出席ください．なお，総会の案内状は，正会員各位に4月下旬別途郵送いたします．ご欠席の場合には，必ず委任状をご返送ください．

記

日　　時　　平成8年5月20日（月）16：00～17：40

会　　場　　ニューサテライトホテル芝浦　鳳凰の間（東京都港区芝浦3-16-18　Tel.03-5444-0202）
（JR田町駅下車．徒歩10分　情報処理学会事務局隣り）

総会次第
1．会長挨拶
2．平成7年度事業報告および決算報告
3．平成8年度事業計画および予算審議
4．会費滞納会員の取扱いについて
5．名誉会員の推挙について
6．平成7年度功績賞の発表と表彰
7．平成7年度論文賞の発表と表彰
8．平成7年度 BestAuthor 賞の発表と表彰
9．平成7年度坂井記念特別賞の発表と表彰
10．平成8年度役員の改選について
11．その他

なお，総会終了後ささやかな懇親パーティ（無料）を行います．会員が一堂に会し，直接お話しができる得難い機会ですので，皆さまのご出席をお待ちしております．

研究発表会開催通知

（平成8年5月1日～5月31日）

◆第104回 人工知能研究会

（発表件数：7件）

（主査：中島秀之，幹事：有馬 淳，加藤 浩，橋田浩一）

日　時　平成8年5月14日（火）10：00～17：10

会　場　情報処理学会 会議室（芝浦）

［東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F．JR（山手線，京浜東北線）：田町（東口）下車，徒歩7分．または地下鉄（浅草線，三田線）：三田下車，徒歩10分．Tel.(03)5484-3535］

議　題

［10：00～11：40］

(1) スペクトル理論を用いた学習アルゴリズムについて　園原ひかる，月本 洋（東芝）

(2) コンピュータによる逆算法を用いた詰め将棋の作成の試み　広瀬正幸（東工大），伊藤琢巳（NTT），松原 仁（電総研）

［12：40～17：10］

(3) アクティブデータベースを用いた対話型インターフェースについての研究　杉田勢津雄，両角幸夫，上田芳弘，広林茂樹，木村春彦（金沢大）

(4) 推論パスネットワークによる仮説合成時の無矛盾性チェックの改善案　野畠英明，木村春彦，広瀬貞樹，広林茂樹（金沢大）

(5) プロダクションシステムのためのジョイン演算の適切な順序に関する一考察　南保英孝，木村春彦，広林茂樹（金沢大）

(6) アクション言語Aを表現するオートマトンモデル　鍋島英知，井上克巳（豊橋技科大）

(7) 情報理論的手法を用いたデータベースからの例外的知識の発見　鈴木英之進，志村正道（東工大）

◆第80回 グラフィクスとCAD研究会

（発表件数：7件）

（主査：大野義夫，幹事：小堀研一，斉藤 剛，福井一夫）

日　時　平成8年5月14日（火）10：00～17：00

会　場　富士通クロスカルチャーセンター 2F 21番会議室

［川崎市中原区小田中1-14-1．JR川崎，立川または小田急 登戸よりJR（南武線）：武蔵中原下車，徒歩5分．Tel.(044)754-5500］

議　題　特集：マルチメディア情報処理と一般

［10：00～12：20］

(1) バブル・メッシュ分割法のための要素サイズの適応的制御方法　山田 敦，嶋田憲司，伊藤貴之（日本IBM）

(2) 幾何学的AICによる規則図形への自動変換　イマン・トリオノ，金谷健一（群馬大）

(3) プラント建設のための仮設足場の配置計画手法　宇佐美芳明，鵜沼宗利，好永俊昭（日立）

［13：30～17：00］

(4) 映像，絵画における視覚情報環境計測条件（ヒトの見えと絵ごころ）　鬼塚武郎

(5) 水溶性色えんぴつ画における加水効果のCGモデリング　高木佐恵子，藤代一成（お茶の水女子大）

(6) 計算機による手書き風画像の生成に関する研究　斉藤 豪，中嶋正之（東工大）

(7) 統合メディア環境COMI & CSの枠組みとメディア操作パラメータの変換法　石若通利，井上誠喜（ATR）

＊テレビジョン学会（マルチメディア情報処理研究会）と共催．

◆第72回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

（発表件数：9件）

（主査：徳田英幸，幹事：梅村恭司，柴山茂樹，福田 晃）

ー計算機アーキテクチャ研究会（後記参照）と連続開催ー

日　時　平成8年5月15日（水）13：00～17：45

会　場　立命館大学 理工学部（びわこ・くさつキャンパス）コアステーション2F 大会議室

［草津市野路町1916．JR（琵琶湖線）：南草津下車，東口バスターミナルより近江鉄道バス：（立命館大学行（1･2番乗場）または立命館大学経由飛鳥グリーンヒル行（5番乗場））：立命館大学下車（約10分）．Tel.(0775)66-1111(代)］

議　題　特集：言語処理／OS 支援アーキテクチャ，および一般

(1) 多重階層化負荷管理方式による超並列計算機向き動的負荷分散
布目　淳，平田博章，新實治男，柴山　潔（京都工繊大）

(2) タスク割当て法における通信時間の取り扱いに対する検討
左木茂克，小林真也（金沢大）

(3) マイクロカーネル Lavender におけるスケジューリング方式
毛利公一，大久保英嗣（立命館大）

(4) 分散並列処理のためのプラットホーム Lemuria の構成
斎藤彰一，大久保英嗣（立命館大）

(5) ページ操作に対する注釈の低オーバーヘッド実現機構
大澤範高，弓場敏嗣（電通大）

(6) OS/omicron V4 におけるハードウェアエミュレート方式とそれをサポートする言語処理系の設計と実現
山本康弘，早川栄一，並木美太郎，高橋延匡（農工大）

(7) OS/omicron 第 4 版におけるセグメントマッピングによるデバイス管理機構の実現と評価
佐藤元信，森永智之，早川栄一，並木美太郎，高橋延匡（農工大）

(8) OS 動作の可視化機能
野口裕介，後藤真孝，谷口秀夫，牛島和夫（九大）

(9) オペレーティングシステム開発環境の設計と実装－ Mach on SESP －
久曽神宏，安田絹子（慶大）

＊電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会）と共催.

◆第 110 回　計算機アーキテクチャ研究会

（発表件数：10 件）

（主査：中島　浩，幹事：木村康則，関口智嗣，宮田裕行）

－システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会（前記参照）と連続開催－

日　時　平成 8 年 5 月 16 日（木）10：30 ～ 16：45

会　場　立命館大学　理工学部（びわこ・くさつキャンパス）コアステーション 2F　大会議室（所在地は前記参照）

議　題　特集：言語処理／OS 支援アーキテクチャ，および一般

[10：30 ～ 12：00]

1) 並列プログラミング用事例ベースの構築
山崎勝弘，松田浩一，安藤彰一（立命館大）

2) 並列オブジェクト指向システムにおけるオブジェクト管理方式
西野秀昭，平田博章，新實治男，柴山　潔（京都工繊大）

3) 通訳型 BASIC 語の言語処理系の盲人向け改造
相川哲弥（岡山大）

[13：00 ～ 16：45]

4) データ並列 C 言語 NCX の EWS 用処理系の実装
岡田徹也，湯淺太一（豊橋技科大）

5) SIMD 型超並列計算機 SM-1 用プロファイラの設計と実現
山本真雄，湯淺太一（豊橋技科大）

6) Speculative Execution by Compiler Supported Branch Prediction Hardware
Tetsuo Hironaka（広島市大），Ashok Halambi，Alex Nicolau，Nikil Dutt（Univ. of California Irvine）

7) プログラミング環境 EULASH の SNAIL における評価
山本淳二，鬼頭宏幸，山口喜弘，亀井貴之，藤原　崇，米田卓司，天野英晴（慶大）

8) FPGA 化のための k-ary n-cube 型相互結合網用のルータの設計
佐野雅彦，Andrew C. Flavell，杉原泰次郎，岡田知士，栗栖一洋，高橋義造（徳島大）

9) 超並列計算機向きプロセッサ結合網 SRT の構成法
井口　寧，堀口　進（北陸先端大）

10) 超高速分子軌道計算専用機 MOE のアーキテクチャ
白川　尭，吉井　卓，村上和彰（九大），長嶋雲兵（お茶の水女子大），小原　繁（北海道教育大釧路）
網崎孝志（島根大），北村一泰，高島　一（大正製薬），田辺和俊（物質工学研）

＊電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会）と共催.

◆第 76 回　マルチメディア通信と分散処理研究会

（発表件数：34 件）

（主査：白鳥則郎，幹事：小花貞夫，柴田義孝，菅野政孝）

日　時　平成 8 年 5 月 16 日（木）9：00 ～ 17：00
17 日（金）9：00 ～ 17：00

会　場　東北大学　電気通信研究所（片平キャンパス）
[仙台市青葉区片平 2-1-1.　JR：仙台下車，徒歩 20 分．Tel.(022)212-1439 (白鳥研究室)]

議　題

5 月 16 日（木）

9：00 ～ 12：00]

1) 命題論理に基づいたやわらかいソフトウェア設計支援システムとその応用

福沢尚司，宋 国煥，富樫 敦，白鳥則郎（東北大）
(2) 事例ベースに基づく仕様記述環境における類語辞書を用いた利用者要求獲得 唐橋拓史，白鳥則郎（東北大）
(3) マルチメディアGUI開発支援環境における事例再利用機構の実現について
伊澤謙一，徳田佳一（東北大），李 殷碩（韓国成均館大），白鳥則郎（東北大）
(4) 進化的情報探索エージェントについて 阿部康一，武田利浩，丹野州宣（山形大）
(5) マルチエージェントに基づく情報検索システム
木原英人，岡田ロベルト（東北大），李 殷碩（韓国成均館大），白鳥則郎（東北大）
(6) ネットワーク利用者へのエージェントによるマルチメディア情報提供の一方式
菅沼拓夫，藤田 茂，今野 将，高橋 謙，菅原研次（千葉工大）

[13：00～17：00]

(7) ワールドワイドな分散オブジェクト指向環境の構想
濱崎陽一（電総研），西岡利博（三菱総研），塚本享治（電総研）
(8) Checkpoint and Rollback in Asynchronous Distributed Systems
桧垣博章，島 健司，立川敬行，滝沢 誠（電機大）
(9) Group Communication for Dynamic Member Changes 立川敬行，桧垣博章，滝沢 誠（電機大）
(10) ビデオハイパーメディアの観光案内システム「TakeMe」への応用
岸田義勝，木原民雄，平野泰宏，岩渕 明，寺中勝美（NTT）
(11) 計算モデルに基づくマルチメディアデータの記述 只野俊介（東北大），布川博士（宮城教育大），宮崎正俊（東北大）
(12) メディア統合アーキテクチャの提案 菊池一彦（日立東北ソフトウェア）
(13) 創造性助長をめざす遠隔協同授業システムの構築
太細 孝（三菱電機），横地 清（北京師範大），小泉寿男（三菱電機）
(14) 遠隔講義システムにおける同期再生方式 坂田洋幸，稲川 淳（NTTデータ）
(15) 遠隔発想支援のコミュニケーションにおけるマルチメディアの有用性に関する実験的考察
杉浦茂樹，李 偉華（東北大），宗森 純（鹿児島大），白鳥則郎（東北大）
(16) ネットワーク情報流通における mutual awareness 確立支援 谷口展郎，藤井 寛，山中康史（NTT）
(17) 電子現金システムの実装および評価 寺内 敦（NTT）
(18) FleaMarket方式による情報流通システムの実装 明石 修（NTT）
(19) **招待講演（16：00～17：00）**：タイトル未定 未定

5月17日（金）

[9：00～12：00]

(20) 共有ビデオカメラによる遠隔観察システムの設計と考察 峯尾淳一（慶大）
(21) グループウェアシステムの中での個人環境 岡田 誠，岩尾忠重，安達基光（富士通）
(22) 協調構造の動的な変更を可能とするマルチエージェント協調機構の開発 宮崎一哉（三菱電機）
(23) マルチメディアコミュニケーションにおけるQoS保証のための協調機構モデルの設計
齋藤武夫（東北大），布川博士（宮城教育大），宮崎正俊（東北大）
(24) 任意の有限状態機械を学習するニューラルネットワークによる通信プロトコルの実装
西垣正勝，佐藤文明，水野忠則（静岡大）
(25) ネットワーク応答特性プロトコルの実装と評価 河合 東，太田 賢，渡辺 尚，水野忠則（静岡大）
(26) 組織間網環境におけるアクセス制御方式（2） 寺田真敏，芳原誠士（IPA），村山優子（広島市立大）

[13：00～17：00]

(27) インターネットにおいてオーディオ及びビデオを配送するプロトコル
串田高幸，河内谷清仁，山内長承（日本IBM）
(28) IPを用いたATMシグナリングプロトコルIP-SVC 藤川賢治，石橋勇人，岡部寿男，池田克夫（京大）
(29) TINAモデルにおけるVODサービスアーキテクチャとインターネットとの連動
洪 忠善，栢 大，古賀祐匠，松下 温（慶大）
(30) 三層クライアント／サーバシステムにおけるトランザクション処理ミドルウェアの開発
関根 徹，鈴木勇至，成田秀明，松本 諭（松下電器）
(31) 構造化され記述に自由度を持つ記述名表現の入力解析構成法 古宇田フミ子（東大）
(32) Enabeld-Mailによる非定型ワークフローアプリケーションの試作 三宅 優，三宅康友，野村隆裕（KDD）
(33) 高速シリアルバス(IEEE 1394)通信方式と表示装置とWANへの適用 鈴木昌則，川和田光，藤本卓也（三菱電機）
影山敏宏（三菱電機東部コンピュータシステム），北山洋幸（スペースソフト），小泉寿男（三菱電機）

(34) ハイブリット型バンヤンネットワークのパフォーマンス解析　Komain Pibulyarojana（筑波大）

◆第 109 回　ソフトウェア工学研究会

（発表件数：8 件）

（主査：磯田定宏，幹事：青山幹雄，岸　知二，深澤良彰）

日　　時　　平成 8 年 5 月 17 日（金）9：30 ～ 17：00

会　　場　　松下電器産業　情報通信システムセンター　2F　大会議室

［東京都品川区東品川 4-5-15．JR：品川下車，京浜急行：青物横丁下車，徒歩 5 分．Tel.(03)5460-2460］

議　　題

9：30 ～ 11：30］ ●開発方法論・開発事例

1) 統合パッケージソフトによるラピットプロトタイピング・システム開発事例
片岡信弘，岡　哲生，伊藤峰秋，小泉寿男（三菱電機）

2) 「ドメインモデル・計算モデル」を志向したアプリケーションソフトウエア開発環境 M-base の開発技法
中所武司，小西裕治，濱　巨人，吉岡大生（明治大）

3) 分散処理システムの処理モデルの一提案　森澤好臣，岩田裕道，外山晴夫（日本ユニシス）

4) 見学：情報通信システムセンター（12：30 ～ 13：30）

13：30 ～ 15：30］ ●開発プロセス

5) 非同期型のコミュニケーションを用いた共同作業における阻害要因の分析
村越広享，海谷治彦，落水浩一郎（北陸先端大），佐伯元司（東工大）

6) 作業の並行化による影響を考慮した開発プロセスシミュレーションモデルの提案
永島　淳，飯田　元，松本健一，鳥居宏次（奈良先端大）

7) 分散並行開発支援環境 PRIME の開発と実践　青山幹雄（新潟工科大），吉松朋聖（富士通）

15：40 ～ 17：00］ ●開発プロセス・一般

8) 品質評価規格文書の構造化とそれに基づくプロセス評価支援システムの試作
松下　誠（阪大），世利至彦，飯田　元（奈良先端大），井上克郎（阪大）

9) 第 18 回ソフトウェア工学国際会議報告　井上克郎（阪大），佐伯元司（東工大）

◆第 30 回　人文科学とコンピュータ研究会

（発表件数：9 件）

（主査：八村広三郎，幹事：斎藤　雅，高橋晴子，山田奨治）

日　　時　　平成 8 年 5 月 17 日（金）10：00 ～ 17：00

会　　場　　会津大学　講義棟　中講義室

［会津若松市一箕町鶴賀．JR（磐越西線）：会津若松下車，会津バス（松長・居合団地行）：会津大学（約 10 分）下車，またはタクシー 10 分．Tel.(0242)37-2502］

議　　題

10：00 ～ 12：00］

1) JIS X4051 の行組版方法に基づいた文書整形システムの設計と実現
遠瀬雅宏，早川栄一，並木美太郎，高橋延匡（農工大）

2) 2 値化レベル制御による古文書画像の文字セグメンテーションとパターン字書について
富田浩章，荒木義彦（立命館大），柴山　守（大阪市立大）

3) 差分重み付ユークリッド距離法による木版刷チベット類似文字認識
小島正美（東北工大），川添良幸（東北大），木村正行（北陸先端大）

4) コンピュータによる書の科学的分析へのアプローチ　安岡素子（奈良教育大），安岡孝一（京大）

13：00 ～ 17：00］

5) 伝統的な意匠・模様のデザインツールに関する研究　蔡　東生（筑波大），池辺八洲彦（会津大）

6) 英単語学習のためのハイパー辞書データベース　吉村信吾（筑波大），池辺八洲彦（会津大）

7) 漢字情報と文例情報を結合した日本語データベースの構築　斎藤秀紀（国語研）

8) マルチメディア民族誌の研究　小長谷有紀，山本泰則，松川　節（民博）

9) 会津大学のコンピュータシステム－研究環境と教育環境－　藤津　明（会津大）

10) 見学（16：00 ～ 17：00）：会津大学情報センター等

◆第 26 回 情報メディア研究会

(発表件数：9 件)

(主査：田中 譲，幹事：小澤英昭，平山智史，広瀬 真)

日 時 平成 8 年 5 月 17 日（金）10 ： 00 ～ 17 ： 30

会 場 横浜・神奈川総合情報センター（アイリス）

［横浜市西区北幸 2-8-4 横浜西口 NK ビル 2F．JR ：横浜（西口）下車，徒歩 8 分．Tel.(045)313-1301］

議 題 小特集：地域と情報メディア

［10 ： 00 ～ 12 ： 00］

(1) 横浜市のマルチメディアモデル事業について 石田 正（横浜市企画局）

(2) 横須賀市のメディアミックス展開について 森本英之

(3) 女性が活躍する K-NET 日野公三（ケイネット）

［13 ： 10 ～ 17 ： 30］

(4) 電話・ファックスなど通信利用も実験する横浜テレビ 佐藤正明（横浜テレビ局）

(5) 地元密着のソフト作りをする CATV 三輪紀元（横浜アーバンテレビジョン）

(6) CATV 網を使った「仮想の街」の実験 村岸由紀（NTT データ）

(7) フォーラム運営側からみたコミュニティとしてのパソコン通信 鈴木治郎（信州大）

(8) 地域メディアとボランティア 金子郁容（慶大）

(9) 地域メディアとメディアリテラシー 鈴木みどり（立命館大）

＊横浜・神奈川総合情報センター協賛．

＊詳しい情報をお知りになりたい方は infomedia-ml@huee.hokudai.ac.jp あて #guide 1 行のみのメールをお送りください．案内文が自動返送されます．

◆第 59 回 情報システム研究会

(発表件数：4 件)

(主査：黒川恒雄，幹事：阿部昭博，魚住 董，内木哲也)

日 時 平成 8 年 5 月 21 日（火） 13 ： 30 ～ 17 ： 00

会 場 情報処理学会 会議室（芝浦）(所在地は前記参照)

議 題

(1) 電子取引におけるセキュリティについての一考察 川越敏司（埼玉大）

(2) 会話ゲームとオフィスモデル 犬童健良（関東学園大）

(3) エンドユーザ指向の概念モデル 神沼靖子（帝京平成大）

(4) マルチメディアサービスの本質的意義と社会的問題に対する一考察 刀川 眞（NTT データ）

◆第 108 回 データベースシステム研究会

(発表件数：10 件)

(主査：田中克己，幹事：有川正俊，石川 博，原嶋秀次)

日 時 平成 8 年 5 月 23 日（木）10 ： 00 ～ 17 ： 00

会 場 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス 環境情報学部

［藤沢市遠藤 5322．小田急（江ノ島線）：湘南台（西口）下車，バス（慶大行）：終点下車．または JR（東海道線）：辻堂（北口）下車，バス（慶大行）：終点下車．Tel.(0466)47-5111］

議 題

［10 ： 00 ～ 12 ： 00］

(1) ハイパーメディアシステムのための可搬性に優れたメディア管理データベース 佐伯剛幸（NEC）

(2) グラフィカル問合せ言語 DUO 用インタプリタの設計・製作 神田儀道，宝珍輝尚，都司達夫（福井大）

(3) 動画像データの内容記述とその構造化処理に関する検討 麻植 周，前田哲郎，福田慶郎，上原邦昭（神戸大）

(4) WWW データ資源検索におけるデータマイニング手法 河野浩之，長谷川利治（京大）

［13 ： 00 ～ 17 ： 00］

(5) コンティニュアスメディア・データの表示・演奏を対象とした分散プロセス間同期機構と実現 端山貴也，清木 康（筑波大）

(6) ハイパーメディアデータベースにおける参照一貫性管理 大本英徹（京都産業大）

(7) WWWサーバと連携したアクティブデータベースからの画像検索 立松浩一，保木大典，小西 修（高知大）

(8) 自己組織化マップによるテキスト情報からの知識獲得 仲川亜希，小西 修（高知大）

(9) データベーススキーマの効果的な図示手法 石川英彦，有澤 博（横浜国立大）

(10) Wrapper 方式に基づくハイパーメディア型文書管理システムの検討 窪野哲光（東京電力）

＊前日（22 日）には電子情報通信学会（データ工学研究会）が開催されます．

▸第7回 数理モデル化と問題解決研究会

（発表件数：4件）
（主査：中森眞理雄，幹事：白石洋一，伊達 博）

時 平成8年5月23日（木）13：30～16：30
場 情報処理学会 会議室（芝浦）（所在地は前記参照）
題
) グラフの点の順序づけ問題の最小費用流問題によるモデル化v 中森眞理雄（農工大）
) 整列問題のネットワークフローモデル 萩原 斉，中森眞理雄（農工大）
) Independent Spanning Trees of Product Graphs and Their Construction
Koji Obokata, Yukihiro Iwasaki, Feng Bao, Yoshihide Igarashi (Gunma Univ.)
) 親の形質を詳細に利用する遺伝的アルゴリズムの性能解析 白石洋一，河田匡稔，多胡誠久（群馬大）

▸第100回 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会（コンピュータビジョン研究会）

（発表件数：19件）
（主査：松山隆司，幹事：喜多伸之，久野義徳，森島繁生）

称変更のお知らせ：本研究会では，これまで進めてきましたディジタル画像処理，コンピュータビジョン研究に加え，後新たな発展が期待される画像・映像メディア処理に関する研究を積極的に進めることを目指して，平成8年度より研会の名称を「コンピュータビジョンとイメージメディア（CVIM）」に変更することにしました．

第100回記念研究会
—コンピュータビジョン研究の過去，現在，未来—

時 平成8年5月23日（木）10：00～17：20
24日（金）10：00～17：30
場 東京大学 山上会館
［東京都文京区本郷7-3-1．地下鉄丸ノ内線：本郷三丁目，または千代田線：根津下車，いずれも徒歩10分．Tel.(03)3812-2111（代）＊キャンパスマップ情報はWWWサーバhttp://www.u-tokyo.ac.jpをご覧ください．］
題

月23日（木）

0：00～11：30］●特別企画：わが国におけるIP，CV研究の軌跡と現状 司会：村瀬 洋（NTT）
) 主査あいさつ 松山隆司（京大）
) IP，CV研究会20年の軌跡 松山隆司（京大）
) CVCV報告 久野義徳（阪大）
) IUE報告 谷口倫一郎（九大）
) プログラムコンテスト結果発表 和田俊和（岡山大）
1：30～12：50］●IUEシステムのデモンストレーション（昼休み中）
2：50～15：30］●特別講演：メディア情報の処理とCV 司会：松山隆司（京大）
) マルチメディアと分散処理の立場から－グループウェアの展望－ 松下 温（慶大）
) ヒューマンインタフェースの立場から 竹林洋一（東芝）
) グラフィックスとCADの立場から－図形画像研究の分化と統合について－ 西原清一（筑波大）
) 情報メディアの立場から－情報の編集，流通，管理のメディア技術－ 田中 譲（北大）
0) オーディオビジュアル複合情報処理の立場から－メディアフュージョンとサイバーワールド－ 安田 浩（NTT）
5：50～17：20］●討論会
1) 激論これからのCV 司会：久野義徳（NTT）
パネリスト：大田友一（筑波大），金谷健一（群馬大），上田博唯（日立電子），松山隆司（京大）

月24日（金）

0：00～12：00］●一般
2) 視覚情報を対話的に学習するマルチモーダル擬人化エージェント
長谷川修，坂上勝彦，伊藤克亘，栗田多喜夫，速水 悟，田中和世，大津展之（電総研）
3) ビジョンを備えた表情インタフェースとのインタラクション 内藤剛人（慶大），竹内彰一（ソニー）
4) 臨場感通信会議における実時間表情検出・再現 大谷 淳，岸野文郎（ATR）
5) 顔表情のコンピュータ認識とAHIへの応用 小林 宏，丹下 明，原 文雄（東理大）

[13 : 30 ～ 15 : 10] ●招待講演 司会：松山隆司（京大）

(16) マルチメディアからヒューマンメディアへ 原島 博（東大），加藤俊一（電総研）

(17) 番組制作と画像処理 榎並和雅（NHK）

[15 : 30 ～ 17 : 30] ●一般

(18) 光学モデルに基づく部品表面検査の一手法 片渕典史，佐野睦夫，奥平雅士（NTT）

(19) 色彩画像からの顔の発見と顔部品の同定 横山太郎，呉 海元，谷内田正彦（阪大）

(20) 2 台のカメラを用いたマニピュレータの平面障害物回避軌道の生成 城井壮一郎，細田 耕，浅田 稔（阪大）

(21) アフィン運動記述を利用した明度相関による視覚追跡 足立佳久，中村恭之，浅田 稔（阪大）

＊記念パーティのご案内：23 日（木）17 : 30 ～ 20 : 00 於山上会館内 談話ホール
参加受付は当日も行いますが，準備の都合上，出席をご予定の方は下記の通り予約をお願いします．
予約締切 平成 8 年 5 月 15 日（水）
予 約 先 村瀬 洋（〒243-01 厚木市森の里若宮 3-1 NTT 基礎研 cvim@eye.brl.ntt.jp）
参 加 費 一般：4,500 円，学生：3,000 円（当日会場にて支払）

◆第 66 回 ヒューマンインタフェース研究会

（発表件数：6 件）
（主査：竹林洋一，幹事：来住伸子，浜田 洋，山本吉伸）

日 時 平成 8 年 5 月 24 日（金）10 : 00 ～ 14 : 00
会 場 湘南国際村 総合研究大学院大学 事務棟 1F セミナー室(101,102 号室)
［神奈川県三浦郡葉山町上山口．JR（横須賀線）：逗子下車，または京浜急行（逗子線）：新逗子下車，京浜急行バス（湘南国際村センター行）：終点下車（約 30 分）．Tel.(0468)58-1500］
議 題 特集：インタフェース評価とデザイン技法，および一般
[10 : 00 ～ 11 : 30]

(1) 列車運行計画・管理業務におけるヒューマンインタフェース評価条件 鬼塚武郎

(2) 計算機演習室における GUI 操作履歴の収集と解析 西田知博，森 孝弘，佐藤貴之，齊藤明紀，辻野嘉宏，都倉信樹（阪大）

(3) 視覚障害者向けシステム設計方法の検討 小場久雄（北陸先端大）

[12 : 30 ～ 14 : 00]

(4) インタラクティブプレゼンテーションにおける walk-up-and-use usability の実現にむけた利用者評価 河野 泉，上窪真一（NEC）

(5) マウス操作モデル・操作速度と方向の影響 坂本忠明，佐藤和弘，今宮淳美（山梨大）

(6) ボタン操作の評価実験 船戸康徳，宮浦慎司，坂本忠明，今宮淳美（山梨大）

＊研究会終了後，引続き「HI プロフェショナル」ワークショップを開催予定です．詳しくは，URL(http://133.99.9.1:3535/)をご覧ください．

◆第 1 回 分散システム運用技術研究会（＊新設）

（発表件数：8 件）
（主査：石田晴久，幹事：箱崎勝也，林 英輔，堀越 彌）

日 時 平成 8 年 5 月 24 日（金）10 : 00 ～ 17 : 00
会 場 東京大学 教育用計算機センター 4F 講義室（大型計算機センター内）
［東京都文京区弥生 2-11-16．地下鉄（千代田線）：根津下車，徒歩 5 分．Tel.(03)3812-2111(ext.2721)］
議 題
[10 : 00 ～ 12 : 00]

(1) 大規模分散システムを効率的に管理するためのシステム管理情報の利用に関して 地引昌弘（NEC）

(2) 名古屋大学大型計算機センター新システムの運用管理について 長谷川明生（名大）

(3) 単一 WWW サーバにおける情報管理機構の実現 寺崎真奈，増山真也，野口 宏（茨城大）

(4) シリアルポートを有する単位装置のための使用時指定方式汎用インタフェースプロトコルの提案 岩原正吉（金沢大）

[13 : 30 ～ 17 : 00]

(5) 分散データベースにおける不変時刻印方式のスループット特性の評価 石森宣行，小林真也（金沢大）

(6) Mbone における CUSM reflector の運用 安東孝二（東大）

(7) マルチフィードによる、インターネット上でのリアルタイム情報発信 宮川 晋，坂本 仁（NTT）

(8) 地域内インターネット相互接続機構の技術と運用 林 英輔（山梨大），八代一浩（サンテクノカテッジ）
本多弘樹，吉川雅修（山梨大），山本芳彦（サンテクノカテッジ）

▶第 61 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

（発表件数：9 件）

（主査：野寺 隆，幹事：佐藤三久，寒川 光，朴 泰祐）

日 時 平成 8 年 5 月 24 日（金）10 ： 30 ～ 17 ： 30

会 場 新情報処理開発機構 会議室

[つくば市竹園 1-6-1 つくば三井ビル 13F．東京駅（八重洲南口）より常磐高速バス（つくばセンター行）：終点下車（約 60 分），徒歩約 5 分．Tel.(0298)53-1663]

議 題 特集：サイエンティフィク・ヴィジュアリゼーションおよび一般

10 ： 30 ～ 12 ： 30]

1) 並列プログラム可視化ツール — 久保田和人（RWCP）

2) Direct Splatting of Scattered Data — 茅 暁陽，関口智嗣（電総研）

3) 分子のまわりの静電ポテンシャル，電気力線の可視化 — 西本匡伸，秦野やす世（中京大）

13 ： 30 ～ 17 ： 30]

4) 招待講演：宇宙流体力学における可視化 — 梅村雅之（筑波大）

5) ハイパフォーマンスコンピュータのためのリアルタイム可視化 — 土肥 俊，村松一弘，武井利文，松本秀樹，秋葉幸範（NEC）

6) Cenju-3 上での流体解析のための実時間可視化システム — 村松一弘，武井利文，松本秀樹，土肥 俊（NEC）

7) 数値シミュレーションの可視化診断システム — 梅谷征雄（日立）

8) 数値シミュレーション支援環境においてプログラム生成過程の可視化およびステアリング — Choompol BOONMEE，川田重夫（長岡技科大）

9) 重複する固有値に対応する固有ベクトルを計算する QD アルゴリズム — 津野直人，野寺 隆（慶大）

▶第 80 回 設計自動化研究会

（発表件数：6 件）

（主査：吉田憲司，幹事：小野寺秀俊，小山正弘，長 光雄）

日 時 平成 8 年 5 月 24 日（金）13 ： 00 ～ 17 ： 10

会 場 情報処理学会 会議室（芝浦）（所在地は前記参照）

議 題 特集：レイアウトと一般

1) 容量制約を満たした配線経路探索方法 — 濱 利行，江藤博明（日本 IBM）

2) プリント配線板を対象とした二層均等化スペーシング手法 — 金井宏和，戸川 望，佐藤政生，大附辰夫（早大）

3) 通信処理用 FPGA を対象とした配置・概略配線同時処理 — 戸川 望，佐藤政生，大附辰夫（早大）

4) 3 次元 VLSI のための初期配置手法 — 大村道郎（広島工大）

5) 任意形状ブロックのレイアウト手法 — 中谷直司，金杉昭徳，森末道忠（埼玉大）

5) マルチスキャンチェイン最適化手法 — 小林 進，枝廣正人（NEC）

▶第 40 回 コンピュータと教育研究会

（発表件数：8 件）

（主査：大岩 元，幹事：河合和久，河村一樹，神津陽一）

日 時 平成 8 年 5 月 24 日（金）13 ： 00 ～ 18 ： 00

会 場 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス A 棟 4F 大会議室（所在地は前記参照）

議 題

13 ： 30 ～ 15 ： 00]

1) 遠隔教育システム VIEW Classroom における学生反応の収集機構 — 香川修見，上林彌彦（京大）

2) 遠隔教育システム VIEW Classroom における質問に対する回答機能 — 香川修見，今井裕之，神谷泰宏，上林彌彦（京大）

3) ネットワークを介した計算機利用者支援システム — 中川さより，鈴木悦子，来住伸子，小川貴英（津田塾大）

4) 学生から見た情報教育 — 斉藤俊則，中鉢欣秀，大岩 元（慶大）

5) 学内見学（15 ： 00 ～ 16 ： 00）

16 ： 00 ～ 18 ： 00]

5) 教育システム工学の位置づけのサーベイ — 君島 浩（富士通ラーニングメディア）

7) 中学校における教科「情報」としての作文教育 — 河合和久（豊橋技科大）

3) 高校における教科「情報」としてのコンピュータサイエンス入門教育 — 河村一樹（尚美学園短大）

9) 高校における教科「情報」としてのプログラミング教育 — 大岩 元（慶大）

研究会終了後，懇親会を予定しています．翌日には同会場にて電子情報通信学会（教育工学研究会）が開催され，「小・中・高の情報教育カリキュラムの課題」に関するパネル討論があります．

◆第15回 音楽情報科学研究会

（発表件数：14件）

（主査：鈴木 孝，幹事：志村 哲，中村滋延，平賀 譲）

日 時 平成8年5月25日（土）13：00～17：15
26日（日） 9：15～15：30

会 場 広島文化女子短期大学
［広島市安佐南区長束西3-5-1. JR広島駅より広島交通バス（横川駅経由文化短大行）：終点（28分）下車．または JR（可部線）：安芸長束下車，徒歩10分．Tel.(082)239-5171（古矢）］

議 題

5月25日（土）

(1) アナクルーシスのパターン構造と演奏における傾向（その2）
小川容子（鳥取大），田口友康（甲南大），村尾忠廣（愛知教育大）

(2) 演奏表情を知覚させる演奏変数の研究
竹内好宏（亀岡高），保科 洋（兵庫教育大）

(3) ピアノ演奏におけるグルーピングの分析－Mozartのピアノソナタ K.331 第1楽章のテーマを題材として－
松本恵理，大串健吾（京都芸大）

(4) 人間二人の演奏における協調動作の調査
堀内靖雄（千葉大）

(5) **パネル討論**（15：15～17：15）：コンピュータサイエンスとしての音楽情報処理～計算モデルの構築
司会：平田圭二（NTT）
パネリスト：井口征士（阪大），小坂直敏（NTT），竹内好宏（亀岡高），橋本周司（早大），平賀 譲（情報大）

5月26日（日）

［9：15～12：00］

(6) エントロピー時系列による音楽の解析と，その編曲・作曲への応用
井上政義，入料孝一（鹿児島大）

(7) パターン認識法を用いた音楽情報データベースの圧縮法
土屋景一（九州芸工大）

(8) 音楽聴取とテストステロン（三）
福井 一（奈良教育大）

(9) 音楽の覚醒調性効果に関する精神生理学的研究
岩城達也（広島大）

(10) 聴取最適レベルにおける判断枠組について
荒川恵子，水浪田鶴，桑野園子，難波精一郎（阪大），加藤 徹（追手門学院大）

［13：00～15：30］

(11) 初見演奏における認知表現の一実験的研究
小谷津孝明（慶大）

(12) 楽曲の表情情報の操作を目的とした構造モデルに関する研究
鈴木泰山，徳永健伸，田中穂積（東工大）

(13) フィードバック機能をもつ自動演奏システムの試み
玉木明和，姚 鳳会，加藤清史（九工大）

(14) 演奏ルールの抽出について
上符裕一（阪大），青野裕司（阪大），片寄晴弘（LIST），井口征士（阪大）

(15) セッションシステムにおける個性導入の一検討
白壁弘次（阪大），片寄晴弘（LIST），井口征士（阪大）

＊日本音楽知覚認知学会と共催．

＊25日の研究会終了後に懇親会がありますのでぜひご参加ください．参加申込みは事前に桑野・山崎（日本音楽知覚認知学会事務局 Tel.(06)850-5666 Fax.(06)850-5667）宛，できるだけFax.でお願いします．

◆第1回 デジタル・ドキュメント研究会（＊新設）

（発表件数：3件）

（主査：山田尚勇，幹事：絹川博之，空閑茂起，福島敏高）

日 時 平成8年5月27日（月）13：30～17：00

会 場 NTTデータ通信 コンファレンスルームB 霞が関ビル 30F
［東京都千代田区霞が関3-2-5．地下鉄（銀座線）：虎の門（5番出口）下車，徒歩3分．または地下鉄（千代田線，日比谷線，丸の内線）：霞が関（A13番出口）下車，徒歩5分．Tel.(03)3580-4535］

議 題

(1) Javaを利用したアプリケーションについて
三津濱元一（富士通）

(2) Javaの技術動向と今後の課題
井田昌之（青山学院大）

(3) フロー情報の収集・活用を支援する検索システム
伊藤史朗，柴田昇吾，上田隆也，池田裕治（キヤノン）

＊日本工業技術振興協会（ユーザ・ドキュメント研究部会）と共催．

◆第 11 回 音声言語情報処理研究会

（発表件数：16 件）

（主査：中川聖一，幹事：岡田美智男，小林哲則，畑岡信夫）

ー自然言語処理研究会：NL（後記参照）と連続開催（一部合同開催）ー

日　時　平成 8 年 5 月 27 日（月）13：00 ～ 17：15

28 日（火）9：30 ～ 17：15（10：45 ～ 17：15 は NL と合同開催）

会　場　東京農工大学　工学部　11 号館（合同棟）5F　多目的会議室

［東京都小金井市中町 2-24-16．JR（中央線）：東小金井（南口）下車，徒歩 10 分．Tel.(0423)87-4607（乾　伸雄）］

議　題

5 月 27 日（月）

(1) 日本語テキスト音声合成における言語処理の検討　鳥原信一，鈴木和洋，斉藤　隆（日本 IBM）

(2) In Japanese, a low pitch region means "backchannel feedback please"　Nigel WARD（東大）

(3) パネル討論音声の話者と話題に関する自動インデキシングの検討　三村正人，河原達也，堂下修司（京大）

(4) A* 探索に基づく大語彙連続音声認識　李　晃伸，河原達也，堂下修司（京大）

(5) 大語彙言語データベースからの N-gram 構築とタスク適応の検討

伊藤彰則，代島直人，丸山　敦，加藤正治，好田正紀（山形大）

(6) 確率モデルによる大語彙連続音声認識の評価　周　旻，堤真理子，中川聖一（豊橋技科大）

(7) RWC（リアルワールドコンピューティング）計画における音声対話データベースの構築

田中和世，速水　悟（電総研），山下洋一（阪大），鹿野清宏（奈良先端大），板橋秀一（筑波大），岡　隆一（RWCP）

5 月 28 日（火）

9：30 ～ 10：30］

(8) ARPA における音声認識プロジェクト　小林哲則（早大）

(9) 大語彙連続音声認識研究のためのテキストデータ整備

武田一哉（名大），伊藤克亘（電総研），松岡達雄（NTT），竹沢寿幸（ATR），鹿野清宏（奈良先端大）

○SLP ・ NL 合同開催（(10)～(16)）

10：45 ～ 12：30］●パネル討論

(10) 統計的言語処理／音声言語処理における大規模言語データベースの利用　司会：鹿野清宏（奈良先端大）

パネリスト：丸山　宏（日本 IBM），宇津呂武仁（奈良先端大），松岡達雄（NTT），竹沢寿幸（ATR）

13：45 ～ 15：15］●形態素

(11) 曖昧観測シンボル列からの HMM パラメータ推定法とその形態素解析への応用　山本幹雄（筑波大）

(12) 正規化頻度による形態素境界の推定　中渡瀬秀一（NTT）

(13) 最長共通部分文字列探索を用いたテキストからの仮名漢字変換候補単語の抽出方法　安達久博（宇都宮大）

15：45 ～ 17：15］●統計・学習

(14) 最大エントロピー法を用いてバイグラム確率から n グラム確率を求める　江原暉将（NHK）

(15) ニューラルネットワークを用いたコーパスからの共起強度の抽出

中川賢一郎，山口昌也，乾　伸雄，野瀬　隆，小谷善行，西村恕彦（農工大）

(16) 多義性解消に用いる事例の獲得　藤井　敦，乾健太郎，徳永健伸，田中穂積（東工大）

＊会場の詳細は http://www.tuat.ac.jp/~zikken2/menu.html 参照.

◆第 113 回 自然言語処理研究会

（発表件数：18 件）

（主査：新田義彦，幹事：丹羽芳樹，久光　徹，丸山　宏）

ー音声言語情報処理研究会：SLP（前記参照）と連続開催（一部合同開催）ー

日　時　平成 8 年 5 月 28 日（火）10：45 ～ 17：15（SLP と合同開催）

29 日（水）9：45 ～ 17：15

会　場　東京農工大学　工学部　11 号館（合同棟）5F　多目的会議室（所在地は前記参照）

議　題

5 月 28 日（火）

○NL ・ SLP 合同開催（前記 SLP 参照(10)～(16)）

5 月 29 日（水）

9：45 ～ 11：45］●文法

(8) LFG 機能スキーマの帰納的獲得　小島丈幸，山口昌也，乾　伸雄，小谷善行，西村恕彦（農工大）

(9) 範疇単一化文法を日本語へ適用する際の付加的な規則について　関　洋平，飯島　正，原田賢一（慶大）

(10) 高階関数に基づく範疇文法系の日本語への適用－表層と深層の語彙主導的な対応付け－
飯島 正，関 洋平，原田賢一（慶大）
(11) 自然言語の並列構造解析へのスキッピングパーザの応用 日下部俊昭，田中穂積，徳永健伸（東工大）

[13：15～15：15] ●意味・談話解析

(12) 語彙的結束性による図解辞書中の名詞の語義の推定 角田達彦，増田 智（京大）
(13) 無助詞の意味解析をめざして 山田剛一，中川裕志（横浜国大）
(14) 日本語の自由会話における談話構造の推定－因果関係の場合について－ 西澤信一郎，中川裕志（横浜国大）
(15) 連接関係に基づく物語文解析 荻澤義昭，乾 伸雄，小谷善行，西村恕彦（農工大）

[15：45～17：15] ●一般

(16) 日本語マニュアル文における名詞間の連接情報を用いた重要語の抽出
松崎知美，雨宮秀文，森 辰則，中川裕志（横浜国大）
(17) 新聞記事における事件特定のための単語群の抽出 白倉悟子，小川貴英（津田塾大），梅村恭司（豊橋技科大）
(18) 基本的な事例構文と，翻訳例を利用した英日機械翻訳 武田紀子（成蹊大）

◆第51回 アルゴリズム研究会

（発表件数：12件）
（主査：浅野孝夫，幹事：阿久津達也，今井桂子，半田恵一）

日 時 平成8年5月29日（水）10：00～17：30
会 場 情報処理学会 会議室（芝浦）（所在地は前記参照）
議 題

[10：00～12：00]

(1) Suboptimal Alignments of Multiple Biological Sequences 渋谷哲朗，今井 浩（東大）
(2) 一般図形ボロノイ図の近似構成法とその改良 山田和公，杉原厚吉（東大）
(3) タンパク質スレッディング問題の近似について 阿久津達也（群馬大）
(4) Fast RNC and NC Algorithms for Finding a Maximal Set of Paths with an Application
上原隆平（東京女子大），陳 致中（電機大），Xin He（State Univ. of New York）

[13：00～17：30]

(5) Parallel Algorithms for Partitioning Sorted Sets and Related Problems
Danny Z. Chen（Univ. of Notre Dame），Wei Chen，Koichi Wada，Kimio Kawaguchi（名工大）
(6) 障害のある並列コンピュータ上でのソーティングアルゴリズム
今村 洋，山本博章（信州大），小林 洋（東海大）
(7) 複数の指定点集合に対する辺付加問題の解法 土屋憲蔵，間島利也，渡辺敏正（広島大）
(8) Several similarity problems for unordered trees 劉 紹明，田中栄一（神戸大）
(9) 辺が本の背と m log n +o(m log n)の交差数をもつ3ページ本型への埋め込み 宮内美樹（NTT），榎本彦衛（慶大）
(10) Isomorphic decompositions and arc-disjoint spanning trees of Kautz digraphs 蓮沼 徹，柴田幸夫（群馬大）
(11) Practical PTAS for Some Maximization Problems on K3,3-free or K5-free Graphs 陳 致中（電機大）
(12) Approximation Algorithms for the Maximum Satisfiability 浅野孝夫（中央大），小野孝男，平田富夫（名大）

◆第7回 プログラミング研究会

（発表件数：7件）
（主査：石畑 清，幹事：上田和紀，寺田 実，萩谷昌己）

日 時 平成8年5月31日（金） 10：00～16：45
会 場 情報処理学会 会議室（芝浦）（所在地は前記参照）
議 題

[10：00～12：15]

(1) 超逐次プログランミング 内平直志，川田秀司，関 俊文，本位田真一（東芝）
(2) DNA computing 有田正規（東大）
(3) ポータブルな言語処理系の日本語化方式 牛嶋 哲（東工大）

[13：15～16：45]

(4) 正規右辺文法の LR パーサの新しい実現法 森本真一（NEC）
(5) 線形論理型言語のコンパイラ処理系でのリソース管理方式について 田村直之，池田雄一（神戸大）
(6) Lazy Abstract Domain Creation for Abstract Interpretation- Towards automatic program analyzer generation -
小川瑞史，小野 諭（NTT）
(7) 環境λ計算と単一化機構 西崎真也（千葉大）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

＊＊＊研究会　論文募集＊＊＊

表申込方法　研究会発表申込書の様式で，発表題目，発表者名（登壇者に○），略称所属，概要（50字程度），発表申込者連絡先（住所，氏名，Tel.，Fax.，e-mail）を明記の上，**各研究会照会先まで e-mail または Fax.で直接お申し込みください．**下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は，事務局研究会担当宛（e-mail:sig@ipsj.or.jp　Fax.(03)5484-3534）に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください．

情報メディア研究会

程　平成8年7月5日（金）

場　富士通（川崎）

表申込締切　**平成8年5月1日（水）**（できるだけe-mailでお願いします）

題　**小特集：サイバー・エデュケーション**

コンピュータを使った教育環境はもちろん，コンピュータを利用するしないにかかわらず新しいメディア概念に示唆的と思われる研究を行っていらっしゃる方はぜひご発表いただき議論を広げていただきたいと思います．

会 先　平山智史（ソニー）Tel.(03)3458-5605,5448-5437　Fax.(03)3458-5611 e-mail: hirayama@ipc.sony.co.jp

研究会の概要をお知りになりたい方はinfomedia-ml@huee.hokudai.ac.jp宛に，本文が#guideの1行だけのメールをお送りください．

デジタル・ドキュメント研究会

程　平成8年7月8日（月）

場　東京

題　デジタル・ドキュメント一般

表申込締切　**平成8年4月26日（金）**

会 先　杉田優子（富士通）e-mail:rhd02206@niftyserve.or.jp　Tel.(044)754-2660　Fax.(044)754-2662

ヒューマンインタフェース研究会

程　平成8年7月11日（木）

場　情報処理学会 会議室（芝浦）

題　**小特集：ハイパーメディアとビデオ・インタフェースおよび一般**

表申込締切　**平成8年5月2日（木）**

会 先　浜田　洋（NTT）e-mail: hamada@aether.hil.ntt.jp　Tel.(0468)59-2095　Fax.(0468)59-2332

マルチメディア通信と分散処理研究会

程　平成8年7月12日（金）

場　情報処理学会　会議室（芝浦）

表申込締切　**平成8年4月30日（火）**（できるだけe-mailでお願いします。）

会 先　宮崎収兄（千葉工大）e-mail:miyazaki@cs.it-chiba.ac.jp　Tel.(0474)78-0541　Fax.(0474)78-0549

分散システム運用技術研究会

程　平成8年7月12日（金）

場　京都大学　大型計算機センター3F　講習会室

題　特に定めません．最近の成果をご発表ください．

表申込締切　**平成8年4月30日（火）**

会 先　金澤正憲（京大）Tel.(075)753-7408　Fax.(075)753-7450　e-mail:w55052@jpnkudpc.bitnet

岩原正吉（金沢大）Tel.(0762)34-4847　Fax.(0762)34-4847　e-mail:iwahara@magstar.ec.t.kanazawa-u.ac.jp

◆グループウェア研究会

日　程　平成8年7月18日（木）
会　場　情報処理学会　会議室（芝浦）
議　題　テーマ：サイバースペースおよび一般
発表申込締切　平成8年4月25日（木）
照会先　桂林　浩（富士ゼロックス）e-mail:katsura@crl.fujixerox.co.jp　Tel.(0465)80-2233　Fax.(0465)81-8971

◆自然言語処理研究会

日　程　平成8年7月18日（木）・19日（金）
会　場　豊橋技術科学大学
発表申込締切　平成8年5月7日（火）＊e-mailには返信しますので，返信のない場合にはご連絡ください．
照会先　堂坂浩二（NTT）Tel.(0462)40-3617　Fax.(0462)40-4705　e-mail:dohsaka@atom.brl.ntt.jp
＊電子情報通信学会（言語理解とコミュニケーション研究会）と共催．
＊研究会毎の論文募集と開催案内の電子メールによる送付をご希望の方はyniwa@harl.hitachi.co.jp（丹羽／日立）宛お申し込みください．

◆情報システム研究会

日　程　平成8年7月19日（金）
会　場　新潟国際情報大学（新潟市）
議　題　特集：国際化に挑む情報システム
発表申込締切　平成8年4月30日（火）
照会先　宗澤拓郎（新潟国際情報大）Tel.(025)239-3730　Fax.(025)239-3690　e-mail:munezawa@nuis.ac.jp

◆アルゴリズム研究会

日　程　平成8年7月24日（水）
会　場　群馬大学
発表申込締切　平成8年5月2日（木）
照会先　今井桂子（中央大）　Fax.(03)3817-1681　e-mail:imai@ise.chuo-u.ac.jp
＊電子情報通信学会（コンピュテーション研究会）（25日），数理モデル化と問題解決研究会（26日）と連続開催．

◆データベースシステム研究会

夏の合同研究会
風林火山ワークショップ

毎年恒例になっております本研究会と電子情報通信学会（データ工学研究会）の夏の合同ワークショップは，昨年は「マルチメディアデータベース不知火宣言」と題して八代で開催し，パラレルセッションで三日間開催するなど，非常に活発なワークショップをとり行うことができましたが，本年は，下記の通り開催いたします．データベースシステム，データ工学，情報ベースなど，両研究会に関連する論文の発表を広く募集いたしますので，昨年同様，活発な意見交換の場となるように，皆様からの積極的なご応募をお待ち申し上げております．

日　程　平成8年7月24日（水）～26日（金）
会　場　長野県上諏訪「ホテル紅や」
発表申込締切　平成8年5月7日（火）（できるだけe-mailでお願いします．）
照会先　本学会　原嶋秀次（東芝）　Tel.(044)548-5471　Fax.(044)520-5856　e-mail:haras@ssel.toshiba.co.jp
通信学会　塚本昌彦（阪大）　Tel.(06)879-7821　Fax.(06)877-9463　e-mail:tuka@ise.eng.osaka-u.ac.jp
＊電子情報通信学会（データ工学研究会）と共催．ACM SIGMOD日本支部協賛（予定）．
＊本研究会はワークショップ形式で行いますが，通常の研究会と同様に事前の参加申し込みは特に必要ありません．ただし，宿泊予約は幹事側で一括してとりおこないます．dbjapan等で別途ご案内申し上げますので，宿泊ご希望の方はご注意くださいますようお願い申し上げます．宿泊費用は宿泊代（二泊分），朝夕食代込みで，社会人40,000円，学生30,000円を目安として考えております．

◆数理モデル化と問題解決研究会

日　程　平成8年7月26日（金）
会　場　群馬大学　工学部
発表申込締切　平成8年5月8日（水）

照 会 先　白石洋一（群馬大）　Tel.(0277)30-1854　Fax.(0277)30-1801　e-mail:siraisi@cs.gunma-u.ac.jp
＊アルゴリズム研究会（24 日），電子情報通信学会（コンピュテーション研究会）（25 日）と連続開催.

◆人文科学とコンピュータ研究会
日　　程　平成 8 年 7 月 26 日（金）
会　　場　横浜美術館
議　　題　一般講演を広く募集します.
発表申込締切　平成 8 年 4 月 24 日（水）＊申込みには返信しますので，返信のない場合はご連絡ください.
照 会 先　山田奨治（筑波技術短大）　Tel.(0298)58-9577　Fax.(0298)58-9579　e-mail:shoji@acm.org
＊日程，会場が当初の予定（9 月・青森）から変更になっています.

◆音声言語情報処理研究会
日　　程　平成 8 年 7 月 26 日（金）・27 日（土）
会　　場　KKR 下呂しらさぎ（岐阜県益田郡）
議　　題　テーマ：自然な発話の解析，理解，生成，および音声対話システム
本テーマに関係する一般講演の他にシステムなどのビデオによるデモンストレーション，2 ページ程度のポジションペーパによる自由討論での話題提供，問題提起なども歓迎いたします.
発表申込締切　平成 8 年 4 月 30 日（火）
照 会 先　岡田美智男（ATR）　Tel.(0774)95-1481　Fax.(0774)95-1408　e-mail:okada@mic.atr.co.jp

◆グラフィクスと CAD 研究会
夏の集中研究集会
手間のかからない CG　ーらくらく映像制作への挑戦ー
CG 技術の進歩ならびに計算機の高速化により，今日では複雑なシーンも CG でリアルに描画できるようになりました．しかし一方で，要求される完成度も高くなったため，実用に供する画像やアニメーションを作成するには，モデリング，レンダリング共に，依然として高いコストがかかります．CG のさらなる普及を進めるには，「品質の高い」画像を「手間をかけずに」生成するための研究が，今後ますます重要になると思います.
そこで，今回の集中研究集会では，手間暇の削減を目指した CG 研究に焦点をしぼって，討論する場を設けたいと思います．関連する課題の例を以下に示しますが，これらに限定せず，広い分野を対象にしたいと考えています.
完成された研究でも，将来に向けてのアイデアでも結構ですが，活発な議論の種となるような発表を特に歓迎します.
●モデリングの手間の削減　（例：CV 技術の利用，テクスチャ生成配置の省力化，人物や自然形状の扱い等）
●モーション，変形，カメラ，照明等設定の，自動化や省力化　（例：逆問題解法，直感的パラメータでの制御等）
●レンダリング時間の削減　（例：描画の精密さの適応的制御，相互反射の簡略計算，傷や汚れの簡易表現等）
●形状や画像のデータベース化と再利用
日　　時　平成 8 年 8 月 22 日（木）14：00 ～ 18：00，23 日（金）9：00 ～ 16：00
会　　場　つなぎ温泉　ひまわり荘（岩手県国保連健康管理施設）
〒 020 盛岡市繋字舘市 69-2, Tel／Fax.(0196)89-2206(代), 盛岡駅からバス 30 分
（宿泊費：14,000 円（予定）　1 泊 3 食，懇親会費込）
＊家族同伴を計画される方は，上記へ各自お申し込みの上，下記照会先へもその旨お知らせください.
発表申込締切　平成 8 年 5 月 31 日（金）（できるだけ e-mail でお願いします.）
参加者数　25 名程度（原則として全員が発表を行う．人数に余裕がある場合に限り，聴講のみの参加も可能.）
照 会 先　斎藤隆文（NTT）Tel.(0422)59-4720　Fax.(0422)59-4224　e-mail:saito@cg.mrb.ntt.jp
寺沢幹雄（日大）Tel.(03)3219-3444　Fax.(03)3219-3380　e-mail:terasawa@eco.nihon-u.ac.jp

▸人工知能研究会
▸計算機アーキテクチャ研究会
▸システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会
▸ハイパフォーマンスコンピューティング研究会
▸プログラミング研究会
1996 年並列／分散／協調処理に関する『秋田』サマー・ワークショップ（SWoPP 秋田'96）
上記 5 研究会は，「1996 年並列／分散／協調処理に関する『秋田』サマー・ワークショップ（SWoPP 秋田'96）」と題

し，並列／分散／協調処理を横断的なキーワードとして，研究会を同時・連続開催いたします．各研究会の日程，特集，担当幹事，発表申込先は下記のとおりです．発表をご希望の方は下記の方法にてお申込みください．多数の方々のご参加をお待ちしています．

日　程　平成7年8月26日（月）～29日（木）

＊各研究会は発表件数に応じ，上記日程の内1日または2日に渡って並列・連続開催されます．詳細日程に関しては，発表の申込状況によって変動する可能性があるのでご承知ください．

会　場　秋田コンベンションセンター『アトリオン』（秋田市）

各研究会特集，担当幹事および照会先

● **AI**：分散・複雑系への協調的アプローチ

担当・発表申込先：有馬　淳（富士通研）　Tel.(0559)24-7210 Fax.(0559)24-6180
e-mail:swopp96-ai@etl.go.jp

● **ARC**：並列／分散アーキテクチャと実践的評価

担当・発表申込先：関口智嗣（電総研）　Tel.(0298)58-5877 Fax.(0298)58-5301
e-mail:swopp96-arc@etl.go.jp

● **OS**：並列／分散／協調システムソフトウェア

担当・発表申込先：福田　晃（奈良先端大）　Tel.(07437)2-5320 Fax.(07437)2-5329
e-mail:swopp96-os@etl.go.jp

● **HPC**：並列分散コンピューティングのテクノロジ＆サイエンス

担当・発表申込先：佐藤三久（RWCP）　Tel.(0298)53-1663 Fax.(0298)53-1652
e-mail:swopp96-hpc@etl.go.jp

● **PRO**：並列／分散／協調プログラミング言語と処理系

担当・発表申込先：舘村純一（東大）　Tel.(03)3402-6231(ext.2375) Fax.(03)3402-3183
e-mail:swopp96-pro@etl.go.jp

発表申込受付開始　平成8年5月23日（木）（できるだけ電子メールでお願いします）

＊上記の発表希望研究会担当幹事宛，電子メール，またはFax.で直接お申し込みください．
また，下記のWWWホームページにてもお申込みいただけます．
詳しくは下記のメイリングリスト，およびWWWにてもご案内いたします．また，同メーリングリストに登録されている皆様には，電子メールでの発表申込書式を送らせていただきます．

メイリングリストおよびWWWのご案内

●適宜案内を行う下記のメイリングリストへなるべくご登録ください．
（swopp-request@etl.go.jp まで「add taisuke@is.tsukuba.ac.jp」のようにメイルの本体に add に続けてご自分のメイルアドレス（上の例では「taisuke@is.tsukuba.ac.jp」）を記入して送付してください．または，help とだけ書いたメイルを送ってください．）

● SWoPP に関するご案内を随時，WWW ホームページ http://www.etl.go.jp/Meetings/SWoPP/ にて行っております．

● swopp-request の利用方法，その他お問合せはできるだけ電子メールでお願いします．

ワークショップ全体に関する問合せ先（参加方法等）

朴　泰祐（筑波大）　Tel.(0298)53-5518　Fax.(0298)53-5206　e-mail:swopp96-secretary@etl.go.jp

＊ SWoPP 秋田'96 の一環として，電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会，フォールトトレラントシステム研究会）を同一会場にて連続・同時開催いたします．なお，発表申込等詳細につきましては，電子情報通信学会誌4月号をご覧ください．

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

◆システム評価研究グループ論文募集

日　程　平成8年6月21日（金）

会　場　NTT ソフトウェア（横浜　関内）

発表申込締切　平成8年5月31日（金）（できるだけ e-mail でお願いします．）

申込／照会先　野瀬純郎（NTT ソフトウェア）e-mail:nose@si.ntts.co.jp　Fax.(045)212-7477

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

記念資料集頒布のご案内

コンピュータビジョン（CV）研究会およびその前身であるイメージプロセッシング（IP）研究会創設20周年にあたり記念資料集を頒布します．部数限定（複写厳禁）ですので，お早めにお申し込みください．郵送希望の方は，現金書留にて代金を申込先住所にお送りください．なお，資料の発送は記念研究会終了後とさせていただきます．

価　格　2,000円（当日受取の場合），3,000円（郵送希望の場合）

申込先　松山隆司（〒606　京都市左京区吉田本町　京大工学部電子通信工学教室
e-mail:cvim@vision.kuee.kyoto-u.ac.jp）

主な内容
- IPおよびCV研究会の歴代主査，幹事の方の随想，メッセージ
- IPおよびCV研究会のこの20年間の活動を中心とした年表
- IP，CV関連の各種国内，国際学会での授賞論文リスト
- IP，CV研究におけるマイルストーン的論文・書籍リスト（コメント付き）
- IPおよびCV研究会の全論文リスト（著者インデックス，キーワード付き）

平成8年度研究会登録について

平成8年度は，新設（2研究会）を含む26研究会により，研究発表会（計128回），シンポジウム（計21件），小規模国際会議（1件）等が予定され，領域制のもとますます活発に研究活動がすすめられています．

年間を通して研究会にご参加の場合には，ぜひ登録をお勧めします．登録者には該当研究報告の無料配布のほか，研究会主催行事等での割引などもあります．会員の皆様のより多くのご登録，ご参加をお待ちしております．

平成8年度から新規に研究会登録を希望される方は前号（Vol.37 No.2 IPSJ KAIKOKU P.27）添付の平成8年度研究会登録申込書（個人新規専用）に必要事項をご記入の上，研究会係宛お送りください．（Fax.可）

平成８年度 研究発表会開催予定

研究会活動の充実，活性化の目的から研究発表会の開催回数を絞り，シンポジウムや国際会議等の活動を計画する研究会もありますので，本欄シンポジウム等の行事予定も併せてご覧ください．

＜コンピュータサイエンス領域＞

平成８年３月15日現在

研究会名（略称）	開催日	会場他
データベースシステム (DBS)	5月23日(木)	慶大（藤沢）
	◎ 7月24日(水)～26日(金)	上諏訪
	10月24日(木)	東京
	1月22日(水)・23日(木)	大阪
ソフトウェア工学 (SE)	5月17日(金)	松下電器（品川）
	7月18日(木)・19日(金)	地方
	9月11日(水)	上智大
	11月15日(金)	東京
	3月 7日(金)	東京
計算機アーキテクチャ (ARC)	◎ 5月16日(木)	立命館大 ※言語処理／OS支援アーキテクチャ（*OSと連続）
	8月26日(月)～29日(木)	ｱﾄﾘｵﾝ（秋田） SWoPP '96 ※並列／分散ｱｰｷﾃｸﾁｬと実践的評価
	10月	山梨大 ※コンパイラ技術
	◎12月12日(木)	神戸大 ※CADとアーキテクチャ（*DAと合同）
	1月	未定 ※（小）光コンピューティング
	3月	札幌 －Hokke '97－（*HPCと連続）
ｼｽﾃﾑｿﾌﾄｳｪｱとｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞ・ｼｽﾃﾑ (OS)	◎ 5月15日(水)	立命館大 ※言語処理／OS支援アーキテクチャ（*ARCと連続）
	8月26日(月)～29日(木)	ｱﾄﾘｵﾝ（秋田） SWoPP '96 ※並列／分散／協調ｼｽﾃﾑｿﾌﾄｳｪｱ
	2月27日(木)・28日(金)	電機大（*DPSと合同）
設計自動化 (DA)	5月24日(金)	学会会議室（芝浦） ※レイアウト
	◎10月17日(木)・18日(金)	東北大 ※システムLSI設計手法
	12月12日(木)	神戸大 ※機能論理設計とｱｰｷﾃｸﾁｬ設計支援（*ARCと合同）
	2月14日(金)	東工大 ※設計とテスト
ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)	5月24日(金)	新情報処理開発機構（つくば） ※ｻｲｴﾝﾃｨﾌｨｯｸ･ﾋﾞｼﾞｭｱﾘｾﾞｰｼｮﾝ
	8月26日(月)～29日(木)	ｱﾄﾘｵﾝ（秋田）SWoPP '96 ※並列分散ｺﾝﾋﾟｭｰﾃｨﾝｸﾞのﾃｸﾉﾛｼﾞ&ｻｲｴﾝｽ
	10月 4日(金)	アステールプラザ（広島）
	12月12日(木)	慶大（三田）
	3月 中旬	札幌 －Hokke '97－（*ARCと連続）
プログラミング (PRO)	5月31日(金)	学会会議室（芝浦）
	8月26日(月)～29日(木)	ｱﾄﾘｵﾝ（秋田）SWoPP '96※並列/分散/協調ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ言語と処理系
	9月 3日(火)	奈良先端大
	11月	山梨大
	1月	未定
	3月28日(金)	NTT（武蔵野）
アルゴリズム (AL)	5月29日(水)	学会会議室（芝浦）
	7月24日(水)	群馬大（*MPSと連続）
	9月13日(金)	岐阜大
	10月17日(木)	東北大
	1月23日(木)	広島大
	3月	NTT（厚木）
数理モデル化と問題解決 (MPS)	5月23日(木)	学会会議室（芝浦）
	7月25日(木)	群馬大（*ALと連続）
	9月13日(金)	農工大
	11月29日(金)	奈良先端大
	1月24日(金)	広島大
	3月24日(月)	川崎製鉄（千葉）

＜情報環境領域＞

研究会名（略称）	開催日	会場他
マルチメディア通信と分散処理（DPS）	5月16日(木)・17日(金)	東北大
	7月12日(金)	学会会議室（芝浦）
	9月27日(金)	学会会議室（芝浦）
	11月14日(木)・15日(金)	広島市立大
	1月30日(木)・31日(金)	愛媛大（*GWと合同）
	2月27日(木)・28日(金)	電機大（*OSと合同）
ヒューマンインタフェース（HI）	5月24日(金)	湘南国際村 ※（小）インタフェース評価とデザイン技法
	7月11日(木)	学会会議室（芝浦） ※（小）ﾊｲﾊﾟｰﾒﾃﾞｨｱとﾋﾞﾃﾞｵ･ｲﾝﾀﾌｪｰｽ
	◎ 9月12日(木)	機械振興会館 ※福祉インタフェース
	11月14日(木)	東 芝（関西） ※（小）エージェントとインタフェース
	1月16日(木)	東 大 ※（小）ネットワーク環境のユーザインタフェース
	3月 6日(木)・ 7日(金)	仙 台 ※（小）インタフェースデバイス
グラフィクスとCAD（CG）	◎ 5月14日(火)	富士通クロスカルチャーセンター
	8月22日(木)・23日(金)	つなぎ温泉（盛岡） ※手間のかからないCG－夏の集中研究集会－
	10月 9日(水)	広島大 ※グラフィクスの応用と新たな展開
	◎12月19日(木)・20日(金)	会津大 ※仮想空間構築のためのﾊﾟﾀｰﾝﾒﾃﾞｨｱ理解とｸﾞﾗﾌｨｸｽ
	2月21日(金)	学会会議室（芝浦）
情報システム（IS）	5月21日(火)	学会会議室（芝浦）
	7月19日(金)	新潟国際情報大 ※国際化に挑む情報システム
	10月16日(水)	学会会議室（芝浦）
	1月21日(火)	学会会議室（芝浦）
	3月18日(火)	東 京 －若手の会－
情報学基礎（FI）	4月18日(木)	学会会議室（芝浦）
	7月25日(木)・26日(金)	奈良先端大
	9月12日(木)・13日(金)	慶 大 ※自然言語処理と情報検索･文書処理（*NLと合同 or 連続）
	11月	つくば
情報メディア（IM）	5月17日(金)	横浜・神奈川総合情報ｾﾝﾀｰ（ｱｲﾘｽ） ※（小）地域情報メディア
	7月 5日(金)	富士通（川崎） ※（小）サイバー・エデュケーション
	◎11月21日(木)・22日(金)	京 都 ※（小）サイバー・スペースのデザイン
	1月10日(金)	北 大 ※（小）ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱﾈｯﾄﾜｰｸとﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ
オーディオビジュアル複合情報処理（AVM）	6月 7日(金)	北海道工大 ※移動体とマルチメディア
	9月13日(金)	早 大 ※ディジタル放送とISDB
	12月 6日(金)	早 大 ※マルチメディアナビゲーション
	3月 7日(金)	沖 縄 ※MPEG4
グループウェア（GW）	4月26日(金)	学会会議室（芝浦） ※教育とグループウェア
	6月13日(木)・14日(金)	会津大
	7月18日(木)	学会会議室（芝浦）
	10月 3日(木)	学会会議室（芝浦）
	1月30日(木)・31日(金)	愛媛大（*DPSと合同）
	3月 6日(木)	学会会議室（芝浦）
*新設 分散システム運用技術（DSM）	5月24日(金)	東 大
	7月12日(金)	京 大
	9月20日(金)	広島大
	11月15日(金)	大阪市立大
*新設 デジタル・ドキュメント（DD）	5月27日(月)	NTTデータ通信（霞が関）
	7月 8日(月)	東 京
	9月17日(火)	学会会議室（芝浦）
	11月11日(月)	東 京
	1月20日(月)	学会会議室（芝浦）
	3月	東 京

<フロンティア領域>

研究会名(略称)	開催日	会場他
自然言語処理 (NL)	5月28日(火)・29日(水)	農工大(*SLPと連続, 一部合同)
	◎7月18日(木)・19日(金)	豊橋技科大
	9月12日(木)・13日(金)	慶大 ※自然言語処理と情報検索・文書処理(*FIと合同or連続)
	11月18日(月)・19日(火)	奈良先端大
	1月 中旬	東京
	3月 中旬	長崎大
人工知能 (AI)	5月14日(水)	学会会議室(芝浦)
	8月26日(月)~29日(木)	ｱﾄﾘｵﾝ(秋田) SWoPP '96 ※分散・複雑系への協調的ｱﾌﾟﾛｰﾁ
	◎10月30日(水)・31日(木)	学会会議室(芝浦) ※人工社会・人工経済
	1月	大阪
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾋﾞｼﾞｮﾝと ｲﾒｰｼﾞﾒﾃﾞｨｱ (CVIM)	5月23日(木)・24日(金)	東大 −第100回記念研究会−
	9月12日(木)	幕張メッセ(千葉県主催先端技術会議の1トラック)
	11月28日(木)	名大
	1月23日(木)	京大
	3月27日(木)	東京
コンピュータと教育 (CE)	5月24日(金)	慶大(藤沢)
	9月20日(金)	学会会議室(芝浦)
	11月15日(金)	豊橋技科大
	1月17日(金)	学会会議室(芝浦)
人文科学とコンピュータ (CH)	5月17日(金)	会津大
	7月26日(金)	横浜美術館
	11月15日(金)	大阪市立大
	1月24日(金)	九工大
音楽情報科学 (MUS)	5月25日(土)・26日(日)	広島文化女子短大
	7月27日(土)・28日(日)	千葉職業能力開発短期大学校 −夏のシンポジウム−
	10月	国立音大
	12月	地方
	2月	学会会議室(芝浦)
音声言語情報処理 (SLP)	5月27日(月)・28日(火)	農工大(*NLと連続, 一部合同)
	7月26日(金)・27日(土)	KKR下呂しらさぎ(岐阜) ※自然発話の解析, 理解, 生成および音声対話システム
	◎10月25日(金)	学会会議室(芝浦)
	◎12月12日(木)・13日(金)	東京近郊
	2月 7日(金)・ 8日(土)	地方 ※音声によるヒューマンインターフェース

注) 上記開催予定は平成8年3月15日現在のもので, 日程, 会場等は変更される場合があります.
最新号の本欄にてご確認ください.

※:特集 ※(小):小特集 ◎:他学会との共催
−SWoPP '96−:1996年並列/分散/協調処理に関する「秋田」サマー・ワークショップ
各研究会8月26日~29日のうち1日または2日にわたり並列・連続開催.
−Hokke '97− :ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価に関する「北海道」ワークショップ

平成８年度研究会のお知らせ

平成８年度は，下記のとおり２６研究会（新設２：＊）で実施します．

＜コンピュータサイエンス領域＞　委員長：増永良文　財務担当：吉澤康文

研究会名（略称）	○ 主査，幹事	取り扱う研究分野の例
データベースシステム（DBS）	○ 田中克己 有川正俊 石川　博 原嶋秀次	1. DBSM技術　2. データモデリング　3. 情報検索 4. ハイパーテキスト・ハイパーメディア 5. マルチメディアデータベース 6. データベース高度応用
ソフトウェア工学（SE）	○ 磯田定宏 青山幹雄 岸　知二 深澤良彰	・要求定義，設計技法　・保守　・形式的仕様　・開発管理　・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開発法 ・ﾒﾄﾘｯｸｽ　・検査，検証　・信頼性　・ｿﾌﾄｳｪｱ開発支援環境，CASE　・標準化 ・再利用，ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ合成　・人的要因，教育　・ｿﾌﾄｳｪｱ開発ﾓﾃﾞﾙ ・知能処理技術のｿﾌﾄｳｪｱ工学への応用
計算機アーキテクチャ（ARC）	○ 中島　浩 木村康則 関口智嗣 宮田裕行	・計算機システム・アーキテクチャ全般 ・ソフトウェア・システム（OS，ｺﾝﾊﾟｲﾗ，ﾂｰﾙ）とのインタフェース ・並列処理アーキテクチャ ・VLSIアーキテクチャ
ｼｽﾃﾑｿﾌﾄｳｪｱとｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞ・ｼｽﾃﾑ（OS）	○ 徳田英幸 梅村恭司 柴山茂樹 福田　晃	システム性能評価，オペレーティングシステム，ネットワーク実現技術， ネットワークプロトコル，サーバ実現技術，リアルタイムシステム， 言語処理系，ネットワークセキュリティ， モーバイルコンピューティング
設計自動化（DA）	○ 吉田憲司 小野寺秀俊 小山正弘 長　光雄	集積回路から装置システムまで一貫した設計自動化技術： 具体的には，エレクトロニクス用DA/CAD，HDL， 論理合成，レイアウト合成，論理検証，テストなどを扱う．
ハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）	○ 野寺　隆 佐藤三久 寒川　光 朴　泰祐	計算科学（数値計算）／ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝの理論と実際（ﾓﾃﾞﾙ化，ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ， 品質保証），高速・高性能ｱｰｷﾃｸﾁｬ・ｼｽﾃﾑ（超並列WS） 利用技術／性能評価と提言，計算と計算機を結ぶ技術（可視化，言語， ﾃﾞｰﾀ配置，最適化，ﾃﾞﾊﾞｯｸﾞﾂｰﾙなど）
プログラミング（PRO）	○ 石畑　清 上田和紀 寺田　実 萩谷昌己	・プログラミング言語の基本概念，設計原理，実装技術 ・プログラミング方法論，プログラミング環境 ・その他，プログラミングに関する面白い話題
アルゴリズム（AL）	○ 浅野孝夫 阿久津達也 今井桂子 半田恵一	1. ｸﾞﾗﾌ，ﾈｯﾄﾜｰｸ等に関するｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ，　2. 計算幾何学と計算代数学 3. 暗号，符号等の数論的ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ　4. 確率ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑと近似ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ 5. 分散，並列ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ，ﾊｰﾄﾞｳｪｱｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ　6. データ構造 7. 計算複雑度理論　8. ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑの応用と実用
数理モデル化と問題解決（MPS）	○ 中森眞理雄 白石洋一 伊達　博	1. 数理モデル化全般と解法　2. 数理計画法 3. グラフ理論，ネットワークフロー理論　4. 逆問題 5. モデル化の教育　6. 各種モデルの応用

＜情報環境領域＞　委員長：上林弥彦　財務担当：滝沢　誠

研究会名（略称）	○ 主査，幹事	取り扱う研究分野の例
マルチメディア通信と分散処理（DPS）	○ 白鳥則郎 小花貞夫 柴田義孝 菅野政孝	マルチメディアによる高度情報通信ネットワークと分散処理システム（高速通信，分散コンピューティング，マルチメディア情報通信，知的通信，プロトコル，分散協調など）
ヒューマンインタフェース（HI）	○ 竹林洋一 来住伸子 浜田　洋 山本吉伸	1. 計算機ｼｽﾃﾑのｲﾝﾀﾌｪｰｽ　2. ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ/ﾏﾙﾁﾓｰﾀﾞﾙｲﾝﾀﾌｪｰｽ 3. ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝとｲﾝﾀﾌｪｰｽ　4. 協調作業のｲﾝﾀﾌｪｰｽ　5. 文書処理のｲﾝﾀﾌｪｰｽ 6. 人工現実感　7. 認知情報処理　8. ｲﾝﾀﾌｪｰｽﾃﾞｻﾞｲﾝ技法 9. ｲﾝﾀﾌｪｰｽ評価法
グラフィクスとCAD（CG）	○ 大野義夫 小堀研一 斎藤　剛 福井一夫	CGのソフトウェア・アルゴリズム・ハードウェア・応用，ユーザ・インタフェース，形状モデリング，アニメーション，アート，可視化，仮想現実感，CAD/CAM，計算幾何学，図面処理
情報システム（IS）	○ 黒川恒雄 阿部昭博 魚住　董 内木哲也	1. 情報システムの分析・設計・構築・運用と利用 2. 情報ニーズ，情報・データの管理などの理論と実際 3. 情報システムと人間・組織・社会との相互関連
情報学基礎（FI）	○ 中川　優 木本晴夫 中谷多哉子 三池誠司	1. 情報の表現，識別，分類，評価，検索，流通，管理の手法 2. 学習と発見による大量情報の知識化，遺伝子情報 3. 大量のマルチメディア情報，文字情報の処理
情報メディア（IM）	○ 田中　譲 平山智史 小澤英昭 広瀬　真	1. 情報の生態系 2. メディアの電子化，映像化，メディア機械（仮想現実など） 3. メディアの創作，編集，表現，伝達，管理，理解のメタファと環境
オーディオビジュアル複合情報処理（AVM）	○ 安田　浩 一之瀬進 児玉　明 村上仁己	マルチメディアと画像，音声情報処理： ・高品質，底ビットレート画像，音声信号処理，符号化システム ・B-ISDN，マルチメディアの国際標準化（MPEG，DAVIC等）
グループウェア（GW）	○ 松下　温 星　　徹 宗森　純 山上俊彦	1. 協調基礎（組織，認知，社会心理，行動科学） 2. グループ応用（意思決定，協同設計，発想，教育） 3. グループワークインフラ（仮想環境，グループ通信） 4. 分散オフィス　5. マルチユーザインタフェース　6. 事例紹介
＊ 分散システム運用技術（DSM）	○ 石田晴久 箱崎勝也 林　英輔 堀越　彌	分散環境での柔軟かつ効率的な， ・コンピュータおよびネットワークシステム・情報源の構成・運用管理手法 ・技術移転とみた運用スタッフ，利用者教育手法
＊ デジタル・ドキュメント（DD）	○ 山田尚勇 絹川博之 空閑茂起 福島敏高	マルチメディア文書作成技術，CALSの活用，検索と表示技術，デジタルライブラリー，ネットワーク流通技術 などのデジタルドキュメント関連の活用について

<フロンティア領域>　委員長：安西祐一郎　財務担当：平田圭二

研究会名（略称）	○ 主査，幹事	取り扱う研究分野の例
自然言語処理（NL）	○ 新田義彦 丹羽芳樹 久光　徹 丸山　宏	言語理論，言語行動，言語資料・統計，辞書，言語データベース， 形態素解析，統語解析，意味解析，文脈解析，対話，談話理解， 音声言語，知識表現，機械翻訳，情報検索，自然言語処理ソフトウェア
人工知能（AI）	○ 中島秀之 有馬　淳 加藤　浩 橋田浩一	知識表現，推論・探索，学習，認知ﾓﾃﾞﾙ，ﾆｭｰﾗﾙﾈｯﾄ，知識ﾍﾞｰｽ， ｴｷｽﾊﾟｰﾄｼｽﾃﾑ，分散・協調AI，ﾌｧｼﾞｰ理論，ﾊﾟﾀｰﾝ・自然言語の理解， 知的ｲﾝﾀﾌｪｰｽ，AIｱｰｷﾃｸﾁｬ，複雑系，A-Life， その他の知能メカニズム関連研究と応用システム
コンピュータビジョンとイメージメディア（CVIM）	○ 松山隆司 喜多伸之 久野義徳 森島繁生	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀによる視覚認識：画像処理，画像理解，物体認識，3次元復元， ｽﾃﾚｵ視，運動解析，距離解析，色彩解析，ﾛﾎﾞｯﾄﾋﾞｼﾞｮﾝ，画像処理ﾌﾟﾛｾｯｻ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀによる視覚ﾒﾃﾞｨｱ処理：画像・ﾋﾞﾃﾞｵ映像の知的編集および知的映像 効果の生成，立体ﾃﾚﾋﾞ，画像・映像ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの検索
コンピュータと教育（CE）	○ 大岩　元 河合和久 河村一樹 神津陽一	1. 情報教育に関する諸問題：初等・中等教育における情報教育のあり方， 大学・企業における教育・再教育・生涯教育などに対するｶﾘｷｭﾗﾑ 2. 教育におけるコンピュータの活用：教育現場に適合したｺﾝﾋﾟｭｰﾀｼｽﾃﾑ， 言語，教材開発支援ﾂｰﾙ，それらの開発・実用経験・評価
人文科学とコンピュータ（CH）	○ 八村広三郎 斎藤　雅 高橋晴子 山田奨治	人文科学分野へのコンピュータ応用をめざした 1. ハード・ソフトの開発・事例 2. 研究手法（処理技術）の開発・事例 3. 学際的研究や理論的研究
音楽情報科学（MUS）	○ 鈴木　孝 志村　哲 中村滋延 平賀　譲	計算機技術と音楽双方に関連した領域： 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏，電子楽器， 音楽信号処理，AIと音楽，音楽の認知・知覚・感性情報， 音楽情報処理システム，音楽学や音楽芸術と計算機技術
音声言語情報処理（SLP）	○ 中川聖一 岡田美智男 小林哲則 畑岡信夫	1. 音声言語情報処理（音声の分析・加工・合成・認識・理解， 話し言葉の解析・解釈・生成） 2. 音声言語処理システム（ディクテーション，音声対話，音声翻訳） 3. 音声インタフェースと音声応用

領域制については，「研究会運営の領域制試行について」（Vol.36 No.5，478p.～479p.），および「領域制に期待する」（Vol.36No.12，巻頭言）をご参照ください．なお，学会WWW（http://www.ipsj.or.jp）にも掲載しています．
年間を通して参加される場合は登録をお願いします．登録費は研究会ごとに毎年度見直しの上，決定します．
学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして，「研究会準登録者制度」を設けております．
詳細等については，事務局研究会担当までお問合せください．
登録されていない会員は研究発表会当日，資料代をいただきます．

研究発表会参加・発表申込方法・研究報告について

◆研究発表会参加

研究発表会には自由に参加できます．開催に関する詳細等は開催月前月号の本欄に掲載します．
（長期開催予定は2，4，8月号本欄掲載）

－研究発表会当日参加について（発表者，聴講者）－

◇研究会（個人，賛助，準（個人））登録会員の当該登録研究会に参加の場合：無　料

◇研究会登録会員以外で研究発表会に参加の場合：

- 情報処理学会会員　　当日の資料代（1,500円程度）
- 情報処理学会学生会員　500円
- 非会員　　1,000円＋当日の資料代

◆研究会登録

研究発表会への年間を通して参加の場合，または研究報告（研究発表会資料）を年間を通して入手希望の場合には登録をお勧めします．

- 登録者には，研究会開催のつど研究報告を後日郵送します．
- 各研究会登録費につきましては，研究会登録申込書（新規）（2，4月号本欄掲載）をご参照ください．

＊学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして「研究会準登録者」制度を設けております．詳細につきましては事務局研究会係までお問合せください．

◆研究発表会発表申込方法

会員は任意の研究会に次の方法で研究発表会の申込みをすることができます．

- 希望者は所定の研究会発表申込書（2，4，8月号本欄掲載）により，発表希望日の3カ月前までに各研究会照会先，または事務局研究会係にお申込みください．なお，申込締切日は都合により若干繰り上がることがあります．
- 原稿執筆等についての詳細は発表が決定（開催月の2カ月前の中旬）しだいお知らせします．
- 発表者も通常参加基準（上記当日参加参照）が適用されます．

◆研究報告残部購入申込

発表年月（資料番号），研究会名，希望部数，申込者氏名，送付先，電話番号を明記のうえ，書面にて（Fax.可）事務局研究会係までお申込みください．その際にはあらかじめ電話等で残部の確認をお願いします．
（当年度，前年度残部のみ頒布可．送料：270円／冊）

残部資料のないもののコピーサービスに関しては，日本科学技術情報センター（JICST）へお問合せください（有料）．なお，国立国会図書館においても閲覧，コピーすることができます．

＊国立国会図書館　　〒100 千代田区永田町1-10-1　Tel.(03)3581-2331
＊日本科学技術情報センター（JICST）　〒100 千代田区永田町2-5-2　Tel.(03)3581-6411

◆研究報告の閲覧

閲覧希望者は，あらかじめ電話等でその旨を研究会係までご連絡のうえお越しください．

【個人新規専用】

平成　年　月　日

平成８年度研究会登録申込書

フリガナ
氏　名 _____　　会員No. _____

＜コンピュータサイエンス領域＞

申込	英略称	研究会名	登録費	申込	英略称	研究会名	登録費
	DBS	データベースシステム	5,000		HPC	ﾊｲﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｺﾝﾋﾟｭｰﾃｨﾝｸﾞ	4,900
	SE	ソフトウェア工学	5,000		PRO	プログラミング	4,900
	ARC	計算機アーキテクチャ	5,500		AL	アルゴリズム	5,500
	OS	ｼｽﾃﾑｿﾌﾄｳｪｱとｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞ・ｼｽﾃﾑ	4,000		MPS	数理モデル化と問題解決	4,200
	DA	設計自動化	5,000				

＜情報環境領域＞

申込	英略称	研究会名	登録費	申込	英略称	研究会名	登録費
	DPS	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ通信と分散処理	5,000		IM	情報メディア	4,300
	HI	ヒューマンインタフェース	5,100		AVM	ｵｰﾃﾞｨｵﾋﾞｼﾞｭｱﾙ複合情報処理	4,500
	CG	グラフィクスとCAD	4,700		GW	グループウェア	4,800
	IS	情報システム	5,000		DSM	＊分散システム運用技術	4,600
	FI	情報学基礎	5,000		DD	＊デジタル・ドキュメント	5,100

＜フロンティア領域＞

申込	英略称	研究会名	登録費	申込	英略称	研究会名	登録費
	NL	自然言語処理	5,600		CH	人文科学とコンピュータ	4,700
	AI	人工知能	3,900		MUS	音楽情報科学	3,500
	CVIM	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾋﾞｼﾞｮﾝとｲﾒｰｼﾞﾒﾃﾞｨｱ	5,100		SLP	音声言語情報処理	5,500
	CE	コンピュータと教育	4,000				

＊：新設

登録申込み： _____件　**合計金額：** _____円　**請求書要：** _____部

問い合わせ先：Tel.(　　)　－　(ext.　　)

登録申込方法および注意事項

・申込者氏名，会員No.を必ず記入のうえ，登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください．
・登録申込件数，合計金額，請求書部数（必要な場合のみ）を記入してください．
・本申込書は新規登録の方のみ利用できます．（平成７年度に登録された方は別途お申込みください）
・登録の方には研究発表会の都度，研究報告を後日郵送します．
・研究報告送付先は学会誌と同様となります．（変更等は書面にて会員係までご連絡ください）
・登録は登録費の領収をもって正式の受付とします．
・登録費の払込みは登録手続き完了後に送付する郵便振替用紙でのご送金にご協力ください．

申込／照会先

〒108 東京都港区芝浦3-16-20　芝浦前川ビル 7F　（社）情報処理学会　研究会係
Tel.(03)5484-3535　Fax.(03)5484-3534　e-mail:sig@ipsj.or.jp

研 究 会 発 表 申 込 書

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 研究会　　（申込　　年　　月　　日）

◆発表希望開催日　　年　　月　　日（　）

◆タ イ ト ル

◆氏名，略称所属
（発表者の右肩に○印）

◆概要（なるべくタイトルとの重複記入は避け，補足事項等をご記入ください）

◆原稿依頼送付先

〒　　－

様

（会員No.　　）

◆連絡先

所属

Tel.　　（ext.　　）

Fax.

e-mail

年　　月　　日受付　　送付　主査・幹事（　　）

（様式2）

「研究グループ」について

確立された分野を対象とした研究会とは別に，ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか，新しい研究分野となり得る萌芽的研究など，より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために，研究グループ制度があります．

この制度は会員の方々の研究活動にお役立ていただけるものとして手軽に設立することができます．

設立等の詳細につきましては事務局研究会担当までお問合せください．

平成8年度は，以下の研究グループが活動します．

＜情報環境領域＞

◇システム評価（新設：H 8.4 ～H 10.3）　（主査：亀田壽夫，幹事：小林　誠，野瀬純郎，李　　頡）

◇モーバイルコンピューティング（新設：H 8.4 ～H 10.3）　（主査：水野忠則，幹事：岡田謙一，寺岡文男，森原一郎）

＜フロンティア領域＞

◇電子化テキストコーパス作成技術（H6.10 ～ H8.9）　（主査：野村浩郷，幹事：井佐原均，徳永健伸，中村貞吾）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

「システム評価」研究グループ新設について

（主査：亀田壽夫，幹事：小林　誠，野瀬純郎，李　　頡）

情報処理システムは多様化し，どのように作るか，またどれを選ぶかなど，評価の問題が重要さを増しています．処理の速さや効率に関わる性能の評価にとどまらず，機能の豊かさ，使い勝手，信頼性，などいろいろな評価の視点が重要です．情報処理技術の各分野の要素技術を統合した立場で性能評価の問題を検討することが，グループの課題の1つです．評価は，情報処理システムがおかれる社会的・自然的環境をも含んで検討されることが必要で，このような検討もグループの課題です．以上の2つを縦横の軸として，幅広い分野・層の方々の参加により，グループの活動が実り多くなることを希望します．

「モーバイルコンピューティング」研究グループ新設について

（主査：水野忠則，幹事：岡田謙一，寺岡文男，森原一郎）

携帯情報機器の登場，コンピュータネットワークの普及により，いつでもどこでもネットワークにアクセスしながら自分のコンピュータで作業を行いたいというモーバイルコンピューティングの利用形態がひろまっている．

本研究グループはこのようなコンピュータシステムの形態に関して，基礎となる理論・技術，通信プロトコル，コンピュータアーキテクチャ，オペレーティングシステム，アプリケーション，応用事例，管理運用，さらに社会科学的考察などについて研究していくことを目指している．

具体的な研究分野としては，(1) 移動体通信計算機環境（言語，OS，インタフェース等），(2) 携帯端末（アーキテクチャ等），(3) セキュリティ，(4) 移動体ネットワーク（アーキテクチャ，プロトコル，管理運用等），(5) 無線ネットワーク（衛星通信，無線LAN等），(6) 分散協調プロトコル，(7) ユービキタスコンピューティング，(8) モーバイルアプリケーション，(9) モーバイル社会システムなどがある．

「分散システム運用技術研究会」発足のお知らせ

目　的

近年，コンピュータシステムの小型軽量，高性能，低価格化が急速に進行し，広域かつ高い共通性・汎用性を有する高速コンピュータネットワークが普及するに従いコンピュータシステムの構造化・組織化が容易に可能となってきました．その結果，これまで限られた組織内でのみ使用されてきたコンピュータシステムがネットワークを通して広くかつ他の多くの自律したコンピュータシステムと緩やかに相互結合して運用されるようになってきています．これにともない，コンピュータシステムの運用においてもこれまで培われてきた技術だけでは十分な対応が困難となり，新たな技術が必要となり，様々な研究開発がなされています．

このコンピュータ・ネットワークの爆発的な普及と利用技術の新しい展開は，システムの構成法，利用形態，運用方法，管理手法に大きな変化をもたらし，予想を越える状況となって現れてきています．また，一方従来困難とされてきた超高速計算能力が現実のものとなるなど，量的拡大が質的な変化となって現れ，情報処理環境は従来の集中処理的な環境から分散処理環境（DCE）へと移行しつつあります．このことは，ハードウェアコストや維持経費の低減，システム運用の自由度の拡大等，多くの利点をもたらす反面，システム設計における最適化を大変困難とし，最適なシステムへの移行や再開発，分散システムの管理，DCE に適したソフトウェアの開発，運用スタッフや利用者教育等で解決を必要とする問題を生じさせています．

これらの課題を解決するためには，システム設計，計算技術，システム管理，システム監査，データベース等の諸技術をネットワークの新しい技術と融合させ，これからの DCE に適応する総合的なシステム技術として発展させることが不可欠です．こうしたコンピュータシステムの運用管理の重要さについて，米国 ACM 学会では早くから注目されており，そのための SIG（Special Interest Group）が結成され，定期的な活動成果も出版されています．一方国内では，コンピュータシステムの運用管理問題は個々の組織内で解決されるべき事項であり，客観的に論じる対象となりにくいとの理由からこの種の問題を検討する場の必要性について認識が希薄でした．

しかし，分散システムの出現によってスケーラビリティを前提とした普遍的な追求が不可欠となり，一般的に検討しておくことの重要性が認識され，本学会の中に平成 6 年 4 月より，「分散システム運用技術 （Distributed System Management Technology; DSM）」研究グループの発足が承認され，活動を開始しました．以来，年 5 回の研究会を開催，この間の研究成果を研究報告 No.1 として取りまとめています．発表された報告は，製造産業における設計上遭遇する諸問題に類似してエンジニアリング的側面を有するテーマを多く含んでおり，現実のシステム運用中に生ずる課題や実際のシステム開発上の課題を研究対象としたものが多く，分散システム運用技術のテーマにふさわしい実践的な課題への取り組みが研究活動の特色となっています．

その結果，徐々にではありますが，「情報応用工学」とでも呼ぶにふさわしい分野が形成されつつあります．研究グループとしての活動は平成 8 年 3 月をもって終了し，この分野の発展性と重要性により，平成 8 年度からは「分散システム運用技術研究会」として継続させていくこととなりました．今後は年間数回の研究会を開催し，下記に紹介いたします研究分野を中心として精力的に研究を進めますとともに重点的に検討すべき課題については集中的に討議する場としてシンポジウムを企画していく予定です．

本研究会が研究対象としている分野は未成熟であり，明らかにされるべき範囲，確定されていない部分を多く含んでいます．確立され，成熟した分野における安定感は期待できませんが，確かな分野を切り開いていくという緊張感と充実感は会員の皆様に十分満足していただけるものと確信しています．多数の会員の方々の参加と積極的な研究活動を期待しております．

主な研究分野

・相互結合可能な分散システムの運用管理
・システム性能の評価とセキュリティー管理
・システム運用技術教育と技術移転
・大規模分散システムと一元管理
・分散情報の階層化と運用管理

提案者（五十音順）

相原玲二（広島大）　浅野正一郎（学情センター）　石田晴久（東大）　伊藤秀一（電通大）
井上　靖（東海大）　今津敦志（富士通）　岩原正吉（金沢大）　岡積正夫（サンリオ）
小原啓義（早大）　岡田　稔（名大）　金澤正憲（京大）　倉田　是（千葉大）
小太刀富雄（富士通）　小山正樹（NTT）　斎藤　潔（富士通）　篠崎俊春（日立）
島崎眞昭（九大）　下条真司（阪大）　武部　幹（金沢工大）　勅使河原可海（創価大）
長嶋雲兵（お茶の水女子大）　長島重夫（日立）　根元義章（東北大）　箱崎勝也（電通大）
長谷川明生（名大）　林　英輔（山梨大）　樋地正浩（東北ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ協）　福村和悦（NEC）
藤井康雄（京大）　藤崎智宏（NTT）　古川善吾（九大）　武藤明彦（日本 IBM）
堀越　彌（日立）　本田雅裕（NEC）　牧野正三（東北大）　松浦敏雄（大阪市立大）
真名垣昌夫（NEC）　村上伸之（横河電機）　薮　義雄（ﾔﾏﾄｼｽﾃﾑ開発）　山本晃司（日立）
山本　強（北大）　横井玉雄（住友金属）　渡辺浩之（野村総研）

「デジタル・ドキュメント研究会」発足のお知らせ

目 的

コンピュータによる情報管理・処理技術の進歩に伴い，従来紙に書いた形で作成されてきた各種の文書（ドキュメント）は，現在では機械処理の可能な「電子化文書」と呼ばれる形態のものが急速に増えてきております．それとともに，長らく紙の形で存在していた情報が，機械処理可能なデータベースとして再組織され，コンピュータによる迅速にして正確な検索を許すデータベースサービスが大幅に普及しつつあります．

それに加えて，最近にいたって新しい要素が二つ加わってきました．すなわち，機械処理向きに加工される情報の，いわゆるマルチメディア化と，通信用ネットワークによる情報伝達利用の普及であります．発端において，文章の単なる文字コード化によって始められたデータベース構築は，情報機器の進展に支えられ，現在では文字情報の電子化に加えて，音声，静止画，動画，さらには画像のカラー化・立体的表現化と，多様化された情報を扱うことが可能になり，しかも経済的に実現されるようになり，それらを扱う多様なマルチメディア機器が製品化され，普及しつつあります．

その一方において，1970 年代の初頭に実験的に始まった，研究情報交換の目的で研究者間を弾力的に自由に接続可能にする多重に構造化された通信回線による情報利用のネットワーク化が，まずアメリカ国内に始まり，ついでヨーロッパに延び，その後急速に世界化しつつあります．それが情報機器の最近の大記憶容量化・マルチメディア化によって，使い勝手の良いグラフィカル・ユーザー・インタフェース化および大量の画像情報のデータベース化を実現するにいたり，この数年に急激な国際的発展を見せ，現時点において推定約 5 千万人とも言われる相互接続利用者を誇るインターネットサービスとなりました．

その結果，はじめは文字情報，それも主として学術研究文献の書誌情報などを通信回線によってオンラインサービスをすることから始まったデータベースサービスも，現在では画像情報などを含めた文献の全文をオンラインサービスする電子図書館（digital library）へと移行しつつあります．またそれと並んで，世界の各地・各機関に分散蓄積された各種各様のマルチメディア化された情報が自由に利用できるワールド・ワイド・ウエブ（WWW）などがインターネット上で組織され，いまでは Mosaic の系列にみられる，はなはだ使い勝手の良い，検索用ユーザーインタフェースなどを通して国際的に活用されています．このような状況下にあって，ますます技術情報のデジタル化技術，流通／配布のネットワーク技術，ISO9000 への対応，国際的な標準システムへの拡張，教育・啓蒙活動が必要になっています．そのため，これまで培ったテクニカルコミュニケーション研究グループでの約 4 年半の活動成果を踏まえ，今後は文書情報の利用者の立場からの研究会として，デジタルドキュメントをさらに掘り下げた研究活動を行います．

活動形態としては，通常の研究会の形式で年に 6 回（奇数月）開催いたします．また，2 年に 1 回の割合でシンポジウムを行うことも考えております．会員の皆様の多数の参加をお待ち申し上げます．

主な研究分野

- 作成技術（文書記述，構造記述，オーサリング技術，マルチメディア文書処理，思考・推敲支援技術）
- 管理技術（データベースマネージメント，SGML，文書管理）
- 出力・表示技術（文書整形，レイアウト，情報検索，ブラウザー）
- 配布技術（HTML，ネットワーク流通技術）
- 基礎技術（自然言語処理，認知心理科学，言語技術，EDI，知的財産権，PL 対応，ISO9000 対応，技術教育）
- 応用技術（CALS，デジタルライブラリー，オンラインドキュメント，標準の取込み）

提案者（五十音順）

青柳幸行（日本ユニシス）	荒井真人（日立）	牛島和夫（九大）	小澤幸雄（東芝 OA コンサルタント）
大野邦夫（INS エンジニアリング）	木下是雄（学習院大）	絹川博之（日立）	空閑茂起（シャープ）
佐藤隆博（NEC）	菅沼 明（九大）	高橋善文（富士通）	千村浩靖（NEC）
納富一宏（神奈川工科大）	福島敏高（富士通）	堀野定雄（神奈川大）	松永芳之（日立）
村岡洋一（早大）	村田 碩（三菱電機）	八木大彦（リコー）	山本 強（北大）
山田尚勇（学情センター）			

平成8年度 シンポジウム等行事予定一覧

平成8年度の主なシンポジウム等行事予定は以下のとおりです．詳細は順次本欄にてお知らせいたします．なお，期日・会場等が変更されることもありますので，ご留意ください．

平成8年3月15日現在

名　　称	開　催　日	場　所
●情報処理学会通常総会	H8. 5.20（月）	ﾆｭｰｻﾃﾗｲﾄﾎﾃﾙ芝浦
◆HI ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ・ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	H8. 5.24（金）～25（土）	湘南国際村
○1996 International Conference on Parallel and Distributed Systems(ICPADS'96)（DPS）	H8. 6. 3（月）～ 6（木）	ﾎﾃﾙｽﾄﾗｰﾀﾞ新宿
◆次世代ボーダレスメディアの新展開と標準化シンポジウム（AVM）	H8. 6.10（月）	早稲田大学
◆1996年並列処理ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ（ARC 他）	H8. 6.18（火）～20（木）	早稲田大学
◆情報 ﾒﾃﾞｨｱ・ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 96-1（IM）	H8. 7. 5（金）	富士通（川崎）
◆ｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄ指向'96ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ（SE）	H8. 7. 8（月）～ 9（火）	早稲田大学
◆画像の認識・理解シンポジウム（CV）	H8. 7.17（水）～19（金）	奈良県新公会堂
◆DA シンポジウム'96（DA）	H8. 8.29（木）～31（土）	西浦温泉（蒲郡）
○IFIP Congress'96-14th World Computer Congress	H8. 9. 2（月）～ 6（金）	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ ｷｬﾝﾍﾞﾗ
◇電気情報関連学会連合大会	H8. 9. 4（水）	日本学術会議講堂
◇第53回全国大会	H8. 9. 4（水）～ 6（金）	大阪工業大学
◆ｿﾌﾄｳｪｱ開発のためのﾄﾞﾒｲﾝ分析・ﾓﾃﾞﾘﾝｸﾞ技術ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ（SE）	H8. 9.12（木）～13（金）	上智大学
◆情報ﾒﾃﾞｨｱ・ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ'96（IM）	H8. 9.12（木）～13（金）	工学院大学
◆マルチメディア通信と分散処理ワークショップ（DPS）	H8.10.23（水）～25（金）	十和田
○第6回生産マネージメント・システム国際会議（APMS'96）	H8.11. 4（月）～ 6（水）	京都国際会館
○第4回ラフ集合・ファジイ集合・機械発見に関する国際会議（RSFM'96）	H8.11. 6（水）～ 8（金）	東京大学
◆ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｼｽﾃﾑ・ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ（OS）	H8.11. 7（木）～ 8（金）	箱　根
◆産業空洞化と情報処理教育（教育）	H8.11.22（金）	未　定
◆情報 ﾒﾃﾞｨｱ・ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 96-2（IM）	H8.11.22（金）	京　都
◆グループウェア'96 シンポジウム（GW）	H8.11.27（水）～28（木）	東　京
◆アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム（DBS）	H8.12. 2（月）～ 4（水）	工学院大学
◆利用者指向の情報ｼｽﾃﾑ・ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ（IS）	H8.12. 5（木）～ 6（金）	東　京
◆問題発見とモデル化 －現場の実例－（MPS）	H8.12. 6（金）～ 7（土）	東　京
◇第38回プログラミング・シンポジウム	H9. 1. 8（水）～10（金）	箱根ﾎﾃﾙ小涌園
◆1997年情報学シンポジウム（FI）	H9. 1.16（木）～17（金）	日本学術会議講堂
◆ウインターワークショップ（SE）	H9. 1.23（木）～24（金）	未　定
◆分散システム運用技術シンポジウム'97（DSM）	H9. 2. 6（木）～ 7（金）	情報処理学会
◆マルチメディア／マルチモーダル・インタフェース（HI）	H9. 2.13（木）	早稲田大学
◇第54回全国大会	H9. 3.12（水）～14（金）	千葉工業大学

◆ 研究会主催（英略称）　◇ 事業主催／プログラミング・シンポジウム
● 総　会　○ 国際会議

情報処理学会「行事」申込書

（本申込書は，お一人1枚でお申し込みください.）

・行事No.，参加費，論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください.
・下記A:(2)は主催研究会登録会員のみ該当します.
・欠席の場合も参加費は返金いたしません.
・会員の方は必ず会員No.を記入してください．記入されていない場合は非会員とさせていただきます.

申込者（該当を○してください）				
A：会員/非会員	(1) 会員	(2) 研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B：会員No.			C：ご氏名	
D：勤務先			E：ご所属	
F：ご住所				
G：Tel.			H：Fax.	
I：e-mail				

送付先，照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
J：

申込行事	
K：行事No.	
L：参加費	円
M：懇親会費	円
N-1：論文集のみ	円
N-2：論文集のみ	冊

アンケート＊宿泊付行事のみ記入（部屋割参考）	
O：性別	(1) 女性 (2) 男性
P：たばこ	(1) すう (2) すわない
Q：年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
R：通信欄	

S：支払方法（該当を○してください）	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945	（ 月	日に送金予定）＊
	(2) 三菱銀行虎ノ公務部 普通 0000608	（ 月	日に送金予定）＊
	(3) 郵便振替（00150-4-83484）	（ 月	日に送金予定）＊
	(4) 当日持参		
	(5) 現金書留		
	[名義人はいずれも（社）情報処理学会]	＊：送金日が分かる場合，記入のこと	
T：送金名義人			
U-1：請求書 通	U-2：見積書 通	U-3：納品書 通	
V：請求書記載名義			
W：送金に関する問合せ先			

申込先　（社）情報処理学会　研究会／事業係

〒108 東京都港区芝浦3-16-20　芝浦前川ビル7F
Tel.(03)5484-3535　Fax.(03)5484-3534　e-mail:sig@ipsj.or.jp（研究会・シンポジウム）
e-mail:jigyo@ipsj.or.jp（事業・全国大会・連続セミナー）

＊e-mailでの申込み：各項目はカンマ（,）で区切り，(1) ... (5) は選択，その他は文字を記入のこと.
[例] A：(1)，B：9999999，C：情報太郎,... S：(1)（1月30日送金予定），T：情報太郎，U-1：1，U-2：1，U-3：1，V：（株）××電気,...

行事 No. S-AVM96

「次世代ボーダレスメディアの新展開と標準化シンポジウム」参加者募集
－DAVIC1.0 仕様のインパクトと将来課題－

オーディオビジュアルを中心としたマルチメディアシステムへのニーズの高まりは，関連技術の発展と標準化の進展に相まって，最近極めて顕著なものがあります．特に，ビデオオンデマンドシステムについては，平成7年12月にDAVIC1.0 仕様が制定され，今後実用化に弾みがかかってくるものと考えられます．

この機会をとらえ，内外の専門家を集めてご講演いただき，知識の普及，真摯な討論の場を提供し，今後の研究開発の発展に資するために本シンポジウムを開催いたします．

日　時　平成8年6月10日（月）10：00～16：30
会　場　早稲田大学　理工学部　55号館　N棟　1F 大会議室　　＊参加申込の方には詳細を後日送付．
主　催　情報処理学会　オーディオビジュアル複合情報処理研究会
協　賛　DAVIC 活動推進委員会
電子情報通信学会　画像工学研究会
IEEE 東京支部　BT グループ
参 加 費　会員：10,000円，非会員：15,000円，学生：2,000円（いずれも論文集代含む）
論文集のみ　5,000円（送料込）
申込方法　本号会告欄の行事申込書により郵送，Fax，または e-mail で送付のこと．
申込締切　平成8年5月24日（金）
申込／照会先　（社）情報処理学会　シンポジウム係　〒108　東京都港区芝浦3-16-20　芝浦前川ビル7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp

プログラム

●［10：00～12：00］特別セッション＜Video over IP＞
(1) インターネット上のビデオ転送のための優先度・締切駆動プロトコル
山内長承，串田高幸，河内谷清久仁（日本IBM）
(2) インターネットにおける実時間情報転送プロトコル RSTP と映像配信システム・ソフトウェアビジョン
秦泉寺浩史，笠原久嗣（NTT）
(3) DSM-CC セッション制御による MPEG over ATM と MPEG over IP とのサービス相互乗り入れ
川島正久（NTT）

●［13：00～14：20］DAVIC 関連セッション
(4) DAVIC インタオペラビリティ実験　笠原久嗣（NTT）
(5) 転換期を迎える DAVIC の現状と今後　藤原　洋（グラフィック　コミュニケーション　ラボラトリーズ）

●［14：30～16：30］パネルディスカッション
(6) 次世代ボーダレスメディアの新展開と標準化
座長：村上仁己（KDD）
パネリスト：インターネット　加古卓也（日本IBM）
デジタル CATV　石黒　公（東京ケーブルビジョン）
DAVIC　島村和典（NTT）
衛星デジタル放送　山崎　滋（NHK 技研）
ホームネットワーク　藤森隆洋（ソニー・コンシューマ AV カンパニー）

行事 No. JSPP96

1996 年 並列処理シンポジウム
JSPP'96 参加者募集
早稲田大学総合学術情報センター国際会議場
1996 年 6 月 18 日 (火) ～ 20 日 (木)

21 世紀に向けた超並列処理について研究発表および議論することを目的とした並列処理シンポジウム **JSPP**(Joint Symposium on Parallel Processing) も，今回で 8 回目を迎えることとなります。本シンポジウムは，単に並列処理に留まらず，分散，協調処理などの新しいテーマまで含んだ学際的な研究交流の場の一つとして，確立されてきております。今回も，並列処理に関する最先端の研究発表に加え，チュートリアル，招待講演，パネル討論などを予定し，白熱した議論が行なわれることを期待しております。多数の方々の御参加をお待ちしております。

- **主催**　情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会，同・ハイパフォーマンスコンピューティング研究会
  同・システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会，同・プログラミング研究会
  同・アルゴリズム研究会
  電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会，同・データ工学研究会
  人工知能学会・並列人工知能研究会
- **協賛**　日本ソフトウェア科学会，日本応用数理学会
- **参加申込方法**　本号会告欄の行事申込書を郵送または Fax. で送付のこと (行事 No. は JSPP96)。
- **参加費**

	主催研究会会員	主催 / 協賛学会員	非会員	学生
5 月 17 日までに申込	28,000 円	33,000 円	38,000 円	12,000 円
5 月 18 日以降に申込	32,000 円	37,000 円	42,000 円	15,000 円

  * 主催研究会会員，主催 / 協賛学会員の方は，行事申込書の会員 No. 欄に，研究会 / 学会名と会員 No. をご記入下さい。
    なお，上記の参加費は新規に登録 / 入会される方にも適用されますので，該当する方はその旨お書き添え下さい。
  * 学生の方は，会員 No. 欄に学年と学籍番号もご記入下さい。
  * 参加費には論文集代と懇親会費が含まれています。
  * 論文集のみをお求めの場合，1 冊 5,000 円 (送料込) です。
- **参加申込締切**　平成 8 年 5 月 31 日 (金)　(定員になり次第締切)
- **参加申込先 (問合せ先)**　(社) 情報処理学会 シンポジウム (JSPP'96) 係
  〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F　TEL : (03)5484-3535　FAX : (03)5484-3534
- **備考**
  - 本シンポジウムに関する情報は，http://www.is.titech.ac.jp/jspp96 でもご案内をいたしております。
  - **以下に掲載するプログラムは暫定版です。**最終版のプログラムは，ネットニュースまたは上記 WWW でご確認ください。
  - 本シンポジウムに参加される方には，同じ会場で 6 月 21 日に開催される国際ワークショップ HPMCC (High Performance Multimedia Computing and Communication) の特別料金が適用されます。HPMCC では、米国の HPCC，ATM，分散アプリケーション，ディジタルライブラリ，エレクトリックコマースなどに関する講演を予定いたしております。詳しくは，上記の WWW などでお確かめください。

JSPP'96 プログラム (暫定版)

第 1 日　6 月 18 日 (火)

◇ **チュートリアル (1)**(10:00～12:00, B 会場) ..... 講師：本多 弘樹 (山梨大)
- 並列化コンパイラ技術 (仮題)

◇ **チュートリアル (2)**(10:00～12:00, C 会場) ..... 講師：(未定)
- 高性能相互結合網の動向 (仮題)

◇ **開会の辞・実行委員長挨拶** (13:00～13:15, A 会場) ..... 斎藤 信男 (慶大)

◇ **基調講演** (13:15～14:30, A 会場) ..... 座長：斎藤 信男 (慶大)
- ゲノム情報学　高木 利久 (東大)

◇ **行列計算** (15:00～16:30, A 会場) ..... 座長：野寺 隆 (慶大)
- 並列固有値ソルバーの開発と性能評価
  直野 健 (日立), 猪貝 光祥 (日立超 LSI エンジニアリング), 山本 有作 (日立)
- 並列言語 ADETRAN4 での行列計算 —VPP500 上の処理系実装とその応用 — 今村 俊幸 (京大)
- Sequent Symmetry 2000 を用いた剛塑性有限要素法の並列処理 宮川 佳夫, 松田 章, 加藤 隆 (岡山県立大)

◇ **ネットワーク (1)**(15:00～16:30, B 会場) ..... 座長：梅村 恭司 (豊橋技科大)
- TCP/IP 通信を用いた並列ネットワーキング方式の検討
  北井克佳, 吉澤聡, マシエルフレデリコ, 鍵政豊彦, 稲上泰弘 (日立)
- ワークステーションクラスタ用通信ライブラリ PM の設計と実装 手塚 宏史, 堀 敦史, 石川 裕 (新情報)
- 並列プログラム実行環境のワークステーションクラスタ上での実装
  堀 敦史, 手塚 宏史, 石川 裕 (新情報), 曽田 哲之 (SRA), 小中 裕喜, 前田 宗則 (新情報)

◇ **命令スケジューリング** (15:00～16:30, C 会場) ..... 座長：（未定）
- ループ並列実行時間の下限を算出する一手法 中西 恒夫, 城 和貴 (奈良先端大),
  Constantine D. Polychronopoulos(イリノイ大), 福田 晃, 荒木 啓二郎 (奈良先端大)
- 非数値計算応用におけるプレディケート実行向け命令スケジューリング
  安藤秀樹, 中西知嘉子, 原哲也, 中屋雅夫 (三菱電機)
- 命令レベル並列プロセッサのためのコードスケジューリング及びレジスタ割付けの協調技法
  小松秀昭 (日本 IBM), 古関聰, 百瀬浩之, 深澤良彰 (早大)

◇ **並列計算法** (16:45～17:45, A 会場) ..... 座長：松澤 照男 (北陸先端大)
- 並列分子動力学法シミュレーションにおける動的負荷分散法 林 亮子, 堀口 進 (北陸先端大)
- 分散モデルに基づく適応構造物の超並列解析 三木光範 (同志社大)

◇ **データ工学** (16:45～17:45, B 会場) ..... 座長：清木 康 (筑波大)
- データマイニングにおける相関関係抽出の並列処理方式の実装とその評価 新谷 隆彦, 喜連川 優 (東大)
- 分散データベースサーバ・イナダの並列処理アーキテクチャ 金子邦彦, 牧之内顕文, 有次正義 (九大)

◇ **命令レベル並列** (16:45～17:45, C 会場) ..... 座長：児玉 祐悦 (電総研)
- 並列性とサイクル時間評価による命令レベル並列処理マシンの性能比較
  原 哲也, 安藤 秀樹, 中西 知嘉子, 中屋 雅夫 (三菱電機)
- 非数値計算の高速実行を目的とした VLIW における命令供給機構の設計と評価
  古関聰 (早大), 小松秀昭 (日本 IBM), 深澤良彰 (早大)

第 2 日　6 月 19 日 (水)

◇ **ネットワーク (2)**(10:00～11:30, A 会場) ..... 座長：（未定）
- キャッシュ制御機構内蔵型多段結合網: MINC 安川 英樹, 舟橋 啓, 西村 克信, 塙 敏博, 天野 英晴 (慶大)
- 大規模並列計算機用結合網クラス MDX の提案と評価
  村田 淳 (京都府大), 天野 英晴 (慶大), 原田 智紀, 朴 泰祐 (筑波大)
- Optimal algorithms for node fault tolerant routing in hypercubes
  Qian-Ping Gu, Shietung Peng(The University of Aizu)

◇ **並列アルゴリズムと並列推論** (10:00～11:30, B 会場) ..... 座長：安浦 寛人 (九大)
- 温度並列 SA 法の TSP への適用と分散メモリ型並列計算機上での効率の良い実現手法
  小西 健三, 屋鋪 正史, 瀧 和男 (神戸大)
- 単調関数の OBDD のトップダウン構成の並列実装 丹羽 純平, 定兼 邦彦, 早瀬 千善, 今井 浩 (東大)
- PARCAR: コストに基づく並列仮説推論システム 加藤昇平, 世木博久, 伊藤英則 (名工大)

◇ **オブジェクト指向と通信ライブラリ** (10:00～11:30, C 会場) ..... 座長：（未定）
- Implementing MPI for the Fujitsu AP1000/AP1000+ using Polling, Interrupts and Remote Copying
  David Sitsky(Australian National University), Kenichi Hayashi(Fujitsu Ltd.)
- 並列オブジェクト指向言語 OCore における柔軟なオブジェクト集合の記述
  小中 裕喜, 友清 孝志, 伊藤 慶明, 前田 宗則, 石川 裕, 堀 敦史 (新情報)
- C++ テンプレートを使ったデータ並列処理ライブラリの効率化手法
  松田 元彦, 石川 裕 (新情報), 佐藤 三久 (電総研)

◇ **PSC'96 結果発表** (13:00～13:15, A 会場) .....

◇ **招待講演** (13:15～14:45, A 会場) ..... 座長：湯淺 太一 (豊橋技科大)
- Architecture-Independent Parallel Programming in High Performance Fortran
  Ken Kennedy (Rice Univ.)

◇ **PSC'96 講評と入選者の発表** (15:15～16:45, A 会場) .....

◇ **並行プロセス言語** (15:15～16:45, C 会場) ..... 座長：村上 昌己 (岡山大)
- Self-Interpretation in an Extension of CCS with Parametric Channels
  堀田 英一, 真野 健 (NTT)
- 並列論理型言語におけるフォールトトレラントソフトウェアの構成
  杉野 栄二, 横田 治夫 (北陸先端大)
- モード誤りをもつ並行論理プログラムの静的デバッグ手法
  長健太, 上田和紀 (早大)

◇ **性能評価** (17:00～18:00, A 会場) ..... 座長：鳥居 悟 (富士通)
- 高並列計算機の性能評価のための挙動予測モデルの構成
  古市 実裕 (東大), 永松 礼夫 (会津大), 出口 光一郎 (東大)
- 定量的な並列システムのスケーラビリティ評価指標
  関口智嗣, 佐藤三久 (電総研), 井須芳美, 長嶋雲兵 (お茶大)

◇ **図形画像処理** (17:00～18:00, B 会場) ..... 座長：小畑 正貴 (岡山理科大)
- 視角制限ピクセル並列処理によるボリュームレンダリング向きの専用計算機アーキテクチャ
  金喜都 (京大), 對馬雄次 (日立), 中山明則, 森真一郎, 中島 浩, 富田真治 (京大)
- 疎結合型マルチプロセッサシステムを用いた三次元 X 線 CT 像の再構成
  福田 安志, 佐々木 徹 (ソニー木原研究所), 岡崎 勉 (ソニー), 遠藤 真広 (科学技術庁)

◇ **可視化** (17:00～18:00, C 会場) ..... 座長：田中 二郎 (筑波大)
- 並列プログラムを多角的に表示する可視化ツール
  久保田 和人, 小柳 滋 (新情報)
- 並列化支援視覚化システム NaraView におけるプログラム情報の 3 次元表示法
  笹倉万里子, 木和田智子, 城和貴, 荒木啓二郎 (奈良先端大)

第 3 日　6 月 20 日 (木)

◇ **並列 I/O システム** (10:00～11:30, A 会場) ..... 座長：瀧 和男 (神戸大)
- スケーラブルテープアーカイバにおけるカセットマイグレーション方式とその評価
  根本利弘, 鮎川健一郎, 茂木和彦, 喜連川優, 高木幹雄 (東大)
- 超並列計算機 JUMP-1 での並列 I/O システムのシミュレーションによる評価
  大谷智, 中條 拓伯, 金田 悠紀夫 (神戸大)
- 細粒度並列処理を行なうマルチメディア指向並列計算機 KUMP/D
  富安 洋史, 川野 哲生, 谷口 倫一郎, 雨宮 真人 (九大)

◇ **細粒度並列** (10:00～11:30, B 会場) ..... 座長：中田 登志之 (NEC)
- 順序付きマルチスレッドアーキテクチャのプログラミングモデルと評価
  鳥居 淳, 本村 真人 (NEC), 近藤 真巳, 鈴木 研司 (NEC 情報システムズ), 小長谷 明彦 (NEC)
- 高並列計算機 EM-X による radix ソートの実行
  児玉祐悦, 坂根広史, 佐藤三久, 山名早人, 坂井修一, 山口喜教 (電総研)
- 細粒度通信機構をもつ並列計算機 EM-X による疎行列問題の並列処理
  佐藤三久, 児玉祐悦, 坂根広史, 山名早人 (電総研), 坂井修一 (新情報), 山口喜教 (電総研)

◇ **分散メモリ向き最適化技法** (10:00～11:30, C 会場) ..... 座長：（未定）
- HPF における集合通信の実行時認識手法
  小笠原 武史, 小松 秀昭 (日本 IBM)
- ソフトウェアキャッシュの制御を行なう最適化コンパイラによる分散共有メモリシステムのメモリ性能改善
  南里 豪志, 佐藤 周行, 島崎 眞昭 (九大)
- 分散メモリ並列計算機のためのコンパイラによる通信遅延隠蔽アルゴリズム
  石崎　一明, 小松　秀昭 (日本 IBM)

◇ **パネル討論** (13:00～14:30, A 会場) ..... モデレータ：松岡 聡 (東大)
- ワークステーションクラスタは MPP を駆逐するか（仮題）

◇ **パネル討論** (15:00～17:00, A 会場) ..... モデレータ：石川 裕 (新情報)
- シームレス計算環境（仮題）

◇ **閉会の辞・プログラム委員長挨拶** (17:00～17:15, A 会場) ..... 湯淺 太一 (豊橋技科大)

JSPP'96 プログラム一覧 (暫定版)

		A 会場	B 会場	C 会場
6/18 (火)	10:00～12:00		チュートリアル (1)	チュートリアル (2)
	12:00～13:00	昼食		
	13:00～13:15	開会の辞・実行委員長挨拶		
	13:15～14:30	基調講演 ● ゲノム情報学　高木 利久 (東大)		
	14:30～15:00	コーヒーブレイク		
	15:00～16:30	行列計算	ネットワーク (1)	命令スケジューリング
	16:30～16:45	休憩		
	16:45～17:45	並列計算法	データ工学	命令レベル並列
6/19 (水)	10:00～11:30	ネットワーク (2)	並列アルゴリズムと並列推論	オブジェクト指向と通信ライブラリ
	11:30～13:00	昼食		
	13:00～13:15	PSC'96 結果発表		
	13:15～14:45	招待講演 ● Architecture-Independent Parallel Programming in High Performance Fortran Ken Kennedy (Rice Univ.)		
	14:45～15:15	コーヒーブレイク		
	15:15～16:45	PSC'96 講評		並行プロセス言語
	16:45～17:00	休憩		
	17:00～18:00	性能評価	図形画像処理	可視化
	18:15～20:15	懇親会		
6/20 (木)	10:00～11:30	並列 I/O システム	細粒度並列	分散メモリ向き最適化技法
	11:30～13:00	昼食		
	13:00～14:30	パネル討論 ● ワークステーションクラスタは MPP を駆逐するか (仮題)		
	14:30～15:00	コーヒーブレイク		
	15:00～17:00	パネル討論 ● シームレス計算環境 (仮題)		
	17:00～17:15	閉会の辞・プログラム委員長挨拶		

行事 No. RS6

「連続セミナー96」参加者募集

標記セミナーについては，昨年度は，「集中から分散へ，マスからパーソナルへ－パラダイムシフトを乗り切るための最新技術の理論と実践－」というテーマで，主たる対象を中堅SEとした実務講座を開催し，これまで参加者から好評を得ています．

平成8年度は引き続き中堅SEを対象とし，時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容と実務的な内容とをとりまぜて，受講者にとってより有益な情報，知識獲得の場といたしたく，「ネットワークコンピューティング時代の情報処理技術－理論と実践」というテーマを掲げて，以下の連続セミナーを開催いたします．（開催日時は全て予定です）

平成8年　6月12日（水）
　第1回　「インターネット技術の最新動向と活用事例」
　　コーディネータ：小西和憲（KDD）
平成8年　7月19日（金）
　第2回　「オブジェクト指向技術によるソフトウェア開発」
　　コーディネータ：土居範久（慶大）
平成8年　9月20日（金）
　第3回　「新しいオフィスのためのコラボレーションとコミュニケーション」
　　コーディネータ：松下　温（慶大）
平成8年　11月29日（金）
　第4回　「コンピュータ技術とエンタテーメント」
　　コーディネータ：福井一夫（NHK）
平成9年　1月24日（金）
　第5回　「パーソナルコンピューティングの最新動向」
　　コーディネータ：未定（ソニー）
平成9年　3月28日（金）
　第6回　「電子商取引の現状と将来」
　　コーディネータ：細谷僚一（NTT）

いずれも10：00～17：30
所　工学院大学　312教室（東京都新宿区）
申込方法　本号行事申込書または，学会ホームページ（http://www.ipsj.or.jp）に必要事項ご記入の上下記までお送りください．
加費（全回参加）　正会員80,000円　非会員100,000円　学生12,000円
料　当日配布
申込締切　平成8年5月31日（定員250名）
（社）情報処理学会　事業係　〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel.(03)5484-3535　Fax.5484-3534　e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

1回　平成8年6月12日（水）10：00～17：30
「インターネット技術の最新動向と活用事例」
セッション1（10：00～11：15）
「インターネットの現状と最新動向」石田晴久（東大）
セッション2（11：30～12：45）
「インターネット技術の課題」村井　純（慶大）
セッション3（14：00～15：15）
「インターネットのビジネス応用技術」伊藤 穣一（エコシス）
パネルディスカッション（15：30～17：30）
「インターネットがさらに発展するために何が必要か」コーディネータ：小西和憲（KDD）
パネリスト　村井　純，伊藤穣一，深瀬 弘恭（IIJ），細谷僚一（NTT）

プログラミングシンポジウム
夏のシンポジウム2「コンピューティングの歴史」参加募集

今日のコンピュータの原型が世に現れてから約半世紀が過ぎようとしています．この間のコンピュータ技術の進歩はめざましいものがあります．ハードウェアに関しては，デバイスの発達とともに演算速度，記憶容量が指数関数的に進歩してきました．ハードウェアの進歩は，当然，ソフトウェアにも大きな影響を及ぼしてきました．

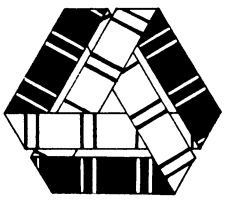
コンピュータの初期の時代には，わが国でも，多くの研究機関や企業で，独自のコンピュータが研究・試作されていました．それらのコンピュータで用いられていた技術（ハードウェア，ソフトウェア）には，歴史を越えて今日的価値を有するものも少なくありません．そのような価値を見いだすのは，コンピュータサイエンティストにだけ可能なことであります．

今，温故知新の精神で，過去のコンピュータ技術を再検討・再評価し，そこからコンピュータ技術の本質を学ぶことは，今後のコンピュータサイエンスの発展のために有益であり，必要であると思われます．特に，過去のコンピュータの設計に盛り込まれたアイデアやフィロソフィーやソフトウェアそのものなど，形のないものは，誰かの頭の中にしかないことも多く，初期のコンピュータの研究・開発に携わった人々が第一線から退きつつある今を除いては，このような機会を設けることは不可能であろうと思われます．

本シンポジウムは，以上の趣旨に基づいて，過去（特に1950年代，60年代）のコンピュータ（ハードウェア，ソフトウェア）の研究・開発に携わった人々を交え，発表と討論を通じて過去のコンピュータ技術から今後の発展方向を求めようとするものです．

日　　時　1996年7月23日(火)13時～25日(木)12時
会　　場　文部省共済組合箱根宿泊所静雲荘（神奈川県足柄下郡箱根町強羅1320　Tel.0460-2-3591）
定　　員　30名
参 加 費　35,000円
発表申込方法　1000字程度のあらましに氏名・所属・連絡方法を明記し，郵送・Fax・e-mail等で申し込むこと
発表申込先　東京農工大学工学部情報工学講座　中森眞理雄　Tel.0423-88-7140　Fax.0423-87-4624
e-mail：nakamori@cc.tuat.ac.jp
発表申込締切　1996年5月31日(金)
論文原稿締切　報告集はシンポジウム終了後に作成されます．論文締切はシンポジウム当日お知らせします．シンポジウム当日は，発表資料を35部ご持参ください．

会議案内



各会議末のコードは，整理番号です（＊：本年既掲載分，＊＊：昨年既掲載分）．会議の詳細を知りたい方は，学会国際係へ切手90円を同封のうえ，請求ください．（国内連絡先が記載されている場合は除く．）　○：本会主催・共催　◆：本会協賛

1.開催日　2.会場　3.照会先　4.その他

【国際会議】

◆ **C strategy'96(6017)**
1. 1996年5月21日（火）～24日（金）　2. 幕張メッセ（千葉市）
3. 事務局（日経内）成澤 Tel.(03)5255-2860　Fax.(03)5734-2754　e-mail:etsuya@is.titech.ac.jp

◆ **Computer Graphics Osaka96(CG OSAKA96)(6016)**
1. 1996年6月19日（水）～21日（金）　2. マイドームおおさか　3.（社）日本能率協会関西地域本部内
Tel.(06)261-7151　Fax.(06)261-5852

◆ **International Workshop on High Performance Multimedia Computing and Communication(6018)**
1. 1996年6月21日（金）　2. 早大国際会議場（都内新宿区）
3. 柴山悦哉（東工大）Tel.(03)5734-3211　Fax.(03)5734-2754　e-mail:etsuya@is.titech.ac.jp

◆ **3rd International Symposium on Distributed Autonomous Robotic Systems(DARS'96)(6015)**
1. 1996年10月29日（火）～31日（木）　2. 理化学研究所（和光市）
3. 浅間　一（理研）Tel.(048)467-9310　Fax.(048)462-4658

第52回全国大会シンポジウム・インダストリアルセッション論文集について

去る3月6日～8日に，東京都調布市の電気通信大学で開催されました標記全国大会は，入場者数2129名という盛況のうちに終了しました．この大会からシンポジウム，インダストリアルセッションが新設され，従来の講演論文集とともにその論文集が刊行されました．まだ残部が多少ございますのでお申し込みください．

一部 2,500円（送料，税込）A4判 288ページ

・インダストリアルセッション「オープン化時代の情報処理システム構築事例」

1. 進捗管理のための新視点 安部晃生
2. クライアント／サーバ構成による指定席発売情報提供システムの開発 吉田広志他
3. 携帯型システムを使用した緊急保安業務支援システムの開発 秋田義一他
4. システムの分散化による部門コンピューティングの実践 林 秀行
5. オブジェクト指向システムの設計手順 白井 健
6. クライアント／サーバシステムでの金融機関基幹業務システムの実現 八木晃二

・シンポジウム「倫理綱領シンポジウム」

1. 情報処理学会倫理綱領の制定に向けて 名和小太郎
2. 倫理綱領調査委員会発足までの経緯 米田英一
3. 情報処理学会倫理綱領案の基本的考え方 土屋 俊
4. 倫理綱領案と法律の視点 松本恒雄
5. 研究者，技術者からみた倫理綱領 塚本享治

・シンポジウム「情報と安全ーマルチメディア新時代」

1. 放送とマルチメディア 大谷 明
2. 電子通商ネットワーク 堀田博文他
3. 情報と安全 山本毅雄
4. 通信とマルチメディア 田尻哲男他

・シンポジウム「音声によるマンマシンインタフェース」

1. 音声対話システム 中川聖一
2. 話し言葉の特徴と解析 中川裕志
3. 音声合成による情報伝達 広瀬啓吉
4. ネットワーク時代の音声翻訳 森元 逞
5. 音声とポインティングジェスチャーを入力手段としたマルチモーダルインタフェースの応用と評価 畑岡信夫他
6. ノンバーバル・コミュニケーションに対する構成論的アプローチ 岡田美智男

・シンポジウム「インターネット時代の情報発信・検索・共有技術」

1. インターネットとデータベースーネットワーク時代のデータベース技術 田中克己
2. インターネットにおける検索技術 木谷 強
3. WWWにおけるインタラクティブ・マルチメディア技術 菊池善光
4. ユニバーサル・データベース 小江畑浩

・シンポジウム「21世紀に向けた分散システム運用技術の展望」

1. 分散システム管理の現状と将来 林英輔他
2. 分散システム構築事例 広沢敏夫他
3. 情報教育のための授業支援環境 齋藤明紀他
4. WIDE/PhoneShellとその関連技術を活用した大規模コンピュータネットワークの管理然不法 大野浩之
5. 分散環境におけるネットワーク管理の実際 宮本良麿

・シンポジウム「コンピュータサイエンスとしての音楽情報処理」

1. コンピュータサイエンスとしての音楽情報処理 平田圭二

・シンポジウム「離陸するモーバイルコンピューティング」

1. モーバイルコンピューティングの課題 松下 温
2. 移動計算機環境のためのソフトウェア構築法 中島達夫
3. モーバイルコンピューティングとデータベースシステム 塚本昌彦
4. 離陸するモーバイルコンピューティングとは 佐藤滋美

IPSJ KAIKOKU

第52回全国大会(会場：電気通信大学）報告

標記全国大会は，平成8年3月6日～8日に電気通信大学（東京都調布市）にて開催されました．参加者は以下のとおりです．（括弧内は第50回全国大会（青山学院大学））

参加者数	会　員	551名	(639名)
	非会員	86名	(70名)
	学　生	163名	(167名)
	発表者	1,099	(1,006名)
	座　長	131名	(114名)
	招待者	99名	(49名)
	計	2,129名	(2,045名)

今大会から調査研究運営委員会，学会誌編集委員会のご協力のもと，シンポジウム，インダストリアルセッションが新設され大変な好評を得ました．関係各位ならびに会場を提供してくださった電気通信大学の関係者の方々に謝意を表します．

第52回全国大会プログラム委員会
- 委員長　稲垣康善（名大）
- 副委員長　中森真理雄（農工大）
- 委　員　筧　捷彦（早大），岩野和生（ＩＢＭ），森田修三（富士通研），船津剛男（東芝），池田克男（京大），菅野政孝（NTTデータ），浜田穂積（電通大），増永良文（図書館大），田中克己（神戸大），萩谷昌己（東大），白鳥則郎（東北大），竹林洋一（東芝），松下　温（慶大），村瀬　洋（ＮＴＴ），丹羽芳樹（日立），橋田浩一（電総研）

第52回全国大会現地実行委員会
- 委員長　浜田穂積
- 委員　弓場敏嗣，角田博保，高汐一紀

【国内会議】

◆第23回知能システムシンポジウム
1. 平成8年3月22日（金）～23日（土）　2. 東工大百年記念館（都内目黒区）
3. 計測自動制御学会　Tel.(03)3814-4121

◆講習会「情報機器におけるマイクロメカニズム」
1．平成8年5月23日（木）～24日（金）　2．東工大百年記念館（都内目黒区）　3．日本機械学会
Tel.(03)5360-3505　Fax.(03)5360-3508

「第2回青年技術士公開シンポジウム」
1．平成8年5月30日（木）　2. 三田NNビル（都内港区）　3．（社）日本技術士会　Fax.(03)3459-1338

◆「平成8年度第II期教育講座：情報通信ネットワークコース」
1．平成8年7月16（火），17（水），23（火），25（木），26日（金）　2．（財）神奈川科学技術アカデミー（川崎市高津区）
3．左同　Tel.(044)819-2033　Fax.(044)819-2026

◆システム制御情報チュートリアル講座96「実務者のためのスケジューリング技術」
1. 平成8年7月17日（水）～18日（木）　2．（大阪）住友電設（株）大阪本社（大阪市西区），
（東京）住友電設（株）東京本社（都内港区）　3. システム制御情報学会　Tel.(075)751-6413　Fax.(075)751-6037

◆「テクニカルコミュニケーションシンポジウム96」
1. 平成8年8月29日（木）～30日（金）　2. 工学院大（都内新宿区）　3. 事務局：柳下
Tel.(03)3368-4607　Fax.(03)3368-5087

◆「光学連合シンポジウム福岡96（JAPAN OPTICS96）」
1. 平成8年9月6日（金）～7日（土）　2. 九大箱崎地区（福岡市東区）　3. 永山邦仁（九大）
Tel.(092)642-3806　Fax.(092)642-3828　e-mail:hakatap@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp

◆第39回自動制御連合講演会
1. 平成8年10月16日（水）～18日（金）　2. 奈良県文化会館（奈良市）　3. システム制御情報学会
Tel.(075)751-6413　Fax.(075)751-6037

Call for Papers
ASP-DAC '97

Asia and South Pacific Design Automation Conference 1997 with EDA TechnoFair '97

Jan. 28 – 31, 1997
Makuhari Messe, Chiba, JAPAN

Aims of the Conference:

The goal of the meeting of ASP-DAC '97 is to provide a forum for presentation, discussion, and observation of the state-of-the-art of Design Automation (DA) and Design Methodology of electric systems. The format of the meetings intends to cultivate and promote an instructive and productive interchange among not only DA researchers and developers, system and circuit designers, but also a variety of those scientists, engineers, and students who are interested in theoretical issues on DA.

Areas of Interest:

Original Papers on, but not limited to, the following areas are invited.

[A] **Design Issues—Practice/Experience with DA Tools:** 1) Design experience using DA tools, 2) High performance/Low power/Deep submicron design, 3) Rapid prototyping and emulation, 4) Design flows for DSP/Communication/Multi-media systems, 5) CAD for new Devices

[B] **Foundations of CAD Technology:** 1) Theory of optimization, 2) Fundamental theory of physical design, 3) Logic function and switching theory, 4) Foundation of verification, 5) Formal semantics of HDL's, 6) New theories for CAD

[C] **Physical Design:** 1) Partitioning, 2) Floorplanning and placement, 3) Global and detailed routing, 4) Module generation, 5) High-speed and microwave DA, 6) Layout verification, 7) PCB design, 8) Packaging CAD, 9) Interaction between logic and layout design

[D] **Synthesis:** 1) Combinational synthesis, 2) Sequential synthesis, 3) High-level synthesis, 4) HW/SW codesign and system synthesis, 5) Synthesis for high performance/low power systems, 6) Asynchronous synthesis, 7) Mapping and technology dependent optimization

[E] **Test:** 1) Fault modeling and simulation, 2) Test pattern generation, 3) Design-for-testability, 4) Fault tolerant methods, 5) Test design issues

[F] **Design Verification and Simulation:** 1) Functional verification, 2) System design verification, 3) Timing verification, 4) Performance analysis, 5) Circuit and timing simulation, 6) Logic and functional simulation, 7) System-level simulation

[G] **Technology CAD:** 1) Device simulation, 2) Process simulation, 3) Device design optimization, 4) CAD tools for new devices

[H] **Analog Design:** 1) Circuit analysis, 2) Analog synthesis, 3) Process and device modeling, 4) Memory cell design

[I] **Design Methods and Environments:** 1) Design scheme, HDL/diagram/chart-based design, 2) Frameworks and databases, 3) Libraries and tools for ASICs, 4) Integration of design tools for ULSI design, 5) Human factors in DA, 6) HW accelerator for DA

[J] **Manufacturing:** 1) DA for IC fabrication, 2) Computer-aided manufacturing, 3) Multi-chip module: design and manufacturing

[K] **Education and Training:** 1) Education of VLSI design, 2) Education of CAD technologies, 3) Training course for CAD tools

Submission of papers:

Deadline for submission:	**July 20, 1996**
Notification of Acceptance:	**Oct. 18, 1996**
Deadline for Final Version:	**Nov. 5, 1996**

Prospective authors are invited to submit to the Conference Secretariat **10 copies of a complete paper** in English, which satisfies the following:

1. The cover page should specify [i] title of paper, [ii] authors and affiliation, [iii] speaker, [iv] mailing address, phone No., FAX No., and e-mail address of the contact author, [v] brief abstract describing the work, [vi] list of area numbers (e.g. A-2), ordered by relevancy, most clearly matching the content of the paper.
2. The paper is of A4 or 8.5"×11" size and should **not exceed 20 pages and 5,000 words including figures, tables, and references. Double-spaced format** is recommended.
3. The technical expositions should be directed to a specialist and should include an introduction for a nonspecialist that describes the problem and the achieved results, focusing on the important ideas and their significance. Any paper that deviates significantly from these guidances, or is not received by the dead line, risks rejection without consideration of its merits.
4. It is mandatory that the accepted papers should be presented at the conference. All the speakers of the regular papers are required to make advance registration and those papers with no pre-registered speakers are treated as being withdrawn.

Exhibition:

An exhibition, EDA TechnoFair '97, sponsored by Electronics Industries Association of Japan, will be opened free of charge to all attendees. Over 50 exhibitors are expected to participate with specializing CAD/DA/CAE systems, hardware platform related products, publications and services.

Panels and Tutorials:

Suggestions and proposals are welcome and have to be addressed to the Conference Secretariat no later than March 20, 1996.

Conference Secretariat:

ASP-DAC '97 Secretariat, c/o CONVEX Inc.
Ichijoji Bldg., 2-3-22 Azabudai, Minato-ku, Tokyo 106 JAPAN
Phone: +81-3-3589-3355, Fax: +81-3-3589-3974
Email: convex@po.iijnet.or.jp

Chairs and Representatives:

General Chair:	Isao Shirakawa (Osaka Univ.)
Steering Committee Chair:	Tatsuo Ohtsuki (Waseda Univ.)
Program Committee Chair:	Takeshi Yoshimura (NEC)
Vice Prog. Committee Chair:	Hiroto Yasuura (Kyushu Univ.)
Tutorial Chair:	Masaharu Imai (Toyohashi Univ. of Tech.)

Region Representatives:
Xian-Long Hong (Tsinghua Univ., Beijing)
Chong-Min Kyung (KAIST)
Youn-Long Lin (Tsing-Hua Univ., Hsin-Chu)
Sunil D. Sherlekar (IIT, Bombay)
David Skellern (Macquarie Univ.)
Omar Wing (The Chinese Univ. of H.K.)
Qianling Zhang (Fudan Univ.)

Sponsored by:

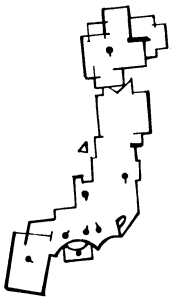
IEICE (Institute of Electronics, Information and Communication Engineers)
IPSJ (Information Processing Society of Japan)
ACM SIGDA
IEEE Circuits and Systems Society

Supported by:

EIAJ (Electronics Industries Association of Japan)

http://www.ieice.or.jp/callforpapers/ASPDAC/

支部だより



情報処理学会支部連絡先

北海道支部 〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内
Tel.(011)706-6819 Fax.(011)706-6819 e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp

東北支部 〒980 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院情報科学研究科内
Tel.(022)263-9437 Fax.(028)263-9437 e-mail:nakao@ecei.tohoku.ac.jp

東海支部 〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA東銀ビル NTTデータ通信(株)東海支社内
Tel.(052)204-4517 Fax.(052)204-4521

北陸支部 〒930 富山県富山市五福3190 富山大学工学部電子情報工学科内
Tel.(0764)41-1271(ext.2707) Fax.(0764)41-8432 e-mail:hirose@ecs.toyama-u.ac.jp

関西支部 〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター気付
Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443 e-mail:infor-soci@kiis.or.jp

中国支部 〒739 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内
Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195 e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp

四国支部 〒770 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部知能情報工学科内
Tel.(0886)56-7496 Fax.(0886)23-2761 e-mail:kita@is.tokushima-u.ac.jp

九州支部 〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA博多駅前ビル
NTTデータ通信(株)九州支社総務担当内
Tel.(092)475-5123 Fax.(092)475-5185 e-mail:rin@is.kyushu-u.ac.jp

平成8年度支部総会について

各支部の通常総会が下記のとおり開催されますので，ぜひご出席ください．なお，各支部総会の案内状は，支部内の正会員各位に別途郵送されますが，ご欠席の場合には必ず委任状をご返送ください．

支部	日時	会場／講演会等
北海道	4月19日（金）16:30～17:10	北海道大学学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目）
	4月18～19日 9:00～17:00	情報処理北海道シンポジウム*96（北海道大学学術交流会館）
	・特別講演18日 13:00～14:30	「メディアと工学」 青木由直 氏（北大）
	・一般講演18～19日 9:00～17:00	
東北	4月24日（水）12:00～	東北大学工学部 青葉会館
	・講演 14:40～16:10	〃 電気・情報館101大講義室
	「ヒューマンコミュニケーションの本質を探る」東倉 洋一 氏（ATR人間情報通信研究所社長）	
東海	5月10日（金）14:30～15:30	愛知厚生年金会館（名古屋市千種区池下町2-63）
	・講演 15:40～17:10	「文字認識技術の特徴と役割」 三宅 康二 氏（三重大学教授）
北陸	5月17日（金）14:10～14:50	福井大学地域共同研究センター研修室
	・特別講演 15:30～16:50	同上
	「コンピュータシミュレーションによるスキーとスノーボードの科学（仮題）」	
	長谷川 健二氏（福井大学工学部教授）	
	・懇親会 17:30～	福井大学工学部1号館1階 工学部会議室
関西	5月15日（水）15:00～15:30	INSプラザ（NTT情報文化センタ）（大阪市北区堂島3-1-21）
	・記念講演 15:30～17:00	同上
	（演題・講師未定）	
中国	5月10日（金）14:10～14:50	中国電力（株）1号館 2階大会議場（広島市中区小町4-33）
	・講演 15:00～16:30	同上
	「電子商取引（EC）の課題と動向」（仮題）	
	田下 佳彦 氏（NTTデータ通信金融システム事業本部第四金融システム事業部長）	
四国	5月10日(金) 14:30～15:00	徳島厚生年金会館（徳島市南前川町3-1-22 Tel.0886-26-1118）
	・シンポジウム 15:10～16:30	同上
	「インターネットの現状と将来」	
	司会：矢野米雄（徳島大学）	
	パネラー：森井昌克（徳島大学）渡辺健次（和歌山大学）菊地時夫（高知大学）林 敏浩（佐賀大学）	
	・懇親会 17:00～19:00	
九州	5月10日(金) 13:30～14:30	NTTデータ通信株式会社九州支社 301会議室
	・講演会 14:30～16:00	同上
	「自然言語処理の歩み」	日高 達 氏（九大）

東海支部　講演会

日　時　平成8年4月24日（水）　15:00 ～ 17:00
会　場　愛知工業大学　総合技術研究所視聴覚室
題　題　研究者のためのインターネット利用法　　高木浩光　氏（名古屋工業大学助手）
参加費　無料（参加資格は問いません）
照会先　〒470-03 豊田市八草町八千草 1247　愛知工大 計算センター小池　Tel.0565-48-8212ext.1301Fax.0565-48-0166

東北支部　平成8年度　電気関係学会　東北支部連合大会

日　時　平成8年8月27日（火），28日（水）
27日（火）　午前：一般講演・技術報告　午後：一般講演・技術報告，特別講演　夜：懇親会
28日（水）　一般講演・技術報告
27，28日の両日，展示会（計測機器，電子通信機器，電力機器他）
会　場　東北学院大学工学部キャンパス（〒985 多賀城市中央 1-13-1　JR 仙石線多賀城駅より徒歩約 10 分）
講演者は，主催学会会員に限る．ただし，連名の場合は会員外を含むことも差し支えない．講演時間は1件15分以内（討論時間を含む）とする．
講演内容　一般講演　各専門分野で最近行った研究の発表
技術報告　各専門分野で最近行った工事報告，現場実験報告，新製品の紹介等，特に現場に直結した実験研究の発表
申込方法　(1)「講演申込書」は申出により「原稿用紙 1,600 字」「原稿の書き方」と共に渡す．郵送希望の場合は
1 ～ 2 件… 190 円，3 ～ 6 件… 270 円，7 ～ 13 件… 390 円，14 件以上… 700 円分の切手を添えること．
(2) 一般講演および技術報告の予稿集はオフセット印刷とするので，必ず所定の原稿用紙を使用すること．
(3) 申込件数の制限は1名2件までとする．ただし連名は差し支えない．
内容が著しく不適当と思われる場合講演を制限する場合がある．
(4) 発表者は講演申込と同時に講演申込金として1件につき 3,500 円を添えて申し込むこと．
（論文集代，別刷 50 部代を含む）
(5) OHP を講演各室に準備する．（希望によりスライドも可）
申込・原稿締切日　6月24日（金）必着厳守（申込書と原稿を同時締切とする）
論 文 集　発表者には，大会当日受付にて配布する．その他，購入希望者は，所要部数を早めに申し込むこと．
（1部　3,000 円，郵送希望の場合は，郵送料1部 450 円を添えること）
申込・照会先　〒980-77 仙台市青葉区荒巻字青葉　東北大学工学部電気情報系学科内
電気関係学会東北支部連合事務局　Tel.(022)222-1800(ext.4312)　尾形
懇 親 会　日時・場所　8月27日（火）　18:00 ～ 20:00　ホテルパレス多賀城
会費　一般：5,000 円，学生　3,000 円（予定）：申し込みは当日大会会場で受付ます．
宿　泊　特に斡旋はしない．
主　催　電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会：日本音響学会・照明学会・テレビジョン学会各東北支部

雑　報

○平成8年度技術士第1次（技術士補）試験の実施
標記について受験科目，資格，試験日程・場所等の詳細は下記に問合わせてください．
受付期間　平成8年5月8日（水）～ 17日（金）（土曜日・日曜日を除く）
照 会 先　〒105 東京都港区虎ノ門 4-1-20　田中山ビル 8F（社）日本技術士会　技術士試験センター
Tel.(03)3459-1333（代）

人材募集

●東京農工大学大学院生物システム応用科学研究科

募集人員	助教授 1 名
所　属	生体機構情報システム学講座（大講座制）
専門分野	生体モデル知覚システム学
応募資格	博士号取得者で視覚(画像)，聴覚(音声，音響)，触覚など，人間が知覚または認知できる各種情報の 1 つまたはそれらのフュージョンの計測，モデル，および計算機処理，またはこれらに関連する分野の研究教育能力を有すること
着任時期	平成 8 年 10 月 1 日（予定）
提出書類	履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷，推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名，連絡先（1 名以上），教育研究計画書．いずれも書式，字数は随意
応募締切	平成 8 年 5 月 10 日
送付先	〒 184 東京都小金井市中町 2-24-16　東京農工大学大学院生物システム応用科学研究科　小畑秀文
照会先	Tel.(0423)88-7147（直通）　Fax.(0423)85-5395　e-mail:kobatake@cc.tuat.ac.jp

●北見工業大学工学部情報システム工学科

募集人員	教授 1 名，助教授 1 名
所　属	情報数理工学講座
専門分野	計算機科学（従来，コンピュータサイエンスのカテゴリに分類されている分野，リアルワールドコンピューティングの分野 *1，またはこれらに近い分野）　*1「軟らかな認識と理解および推論」等に関する分野
応募資格	教授および助教授ともに博士の学位を有し，大学院博士課程を担当できる方
着任時期	平成 9 年 4 月 1 日までのなるべく早い時期
提出書類	履歴書，業績一覧表，審査論文（国際会議を含む）別刷またはコピー *2，現在までの研究経過と着任後の研究計画を 1500 字以内にまとめたもの　*2 雑誌等に掲載前の論文については，採録通知のコピー
応募締切	平成 8 年 5 月 31 日
送付先	〒 090 北海道北見市公園町 165　北見工業大学工学部情報システム工学科　教授選考委員会委員長または助教授選考委員会委員長　「教授応募書類」または「助教授応募書類」と朱書し書留
照会先	情報システム工学科長　鈴木茂人　Tel.(0157)26-9332　Fax.(0157)26-9344　e-mail:suzuki@info.kitami-it.ac.jp

●高知工科大学（平成 9 年開学予定）情報システム工学科

募集人員	助手 1 名
専門分野	情報工学
応募資格	専門分野に研究業績があり，修士または博士の学位を有する（平成 9 年 4 月までに取得予定の方を含む）若手研究者
着任時期	平成 9 年 4 月 1 日
提出書類	自筆履歴書，研究業績一覧表，著書・論文掲載誌（別刷，コピー可）とその要旨各 200 字以内，推薦書
応募締切	平成 8 年 5 月 31 日
送付先／照会先	〒 100 東京都千代田区霞ヶ関 3-3-1　尚友会館 1F　（財）高知工科大学設立準備財団東京分室 主任　吉井一雄　Tel.(03)3503-8028　Fax.(03)3503-8078

●平成9年度基礎科学特別研究員

募集人員　70名程度
専門分野　物理学，化学，生物科学，医科学，工学の各分野で，理化学研究所で実施可能な研究
応募資格　平成9年4月1日現在35歳未満の健康な方で，博士号取得者またはこれと同等の研究能力を有すると認められる方，日本に永住権を有さない外国人にあっては，上記に加え，応募日現在で日本国に在住し日本国の大学院博士課程を修了（見込みを含む）し，博士号を取得（見込みを含む）している方
着任時期　平成9年4月1日
契約期間　連続して最長3年間を限度とし，毎年度所要の評価により契約更新
応募締切　平成8年6月5日（必着）なお，応募する方は平成8年5月22日までに下記に問い合わせること
送付先／照会先　〒351-01 埼玉県和光市広沢2番1号　理化学研究所研究業務部・基礎科学特別研究員制度推進室
Tel.(048)467-9268（直通）　Fax.(048)463-3687　e-mail:wakate@postman.riken.go.jp
その他　本件は政府予算の成立を前提としており，その事情により変更がありえますので，その旨ご承知おきください

●湘北短期大学

募集人員　助手1名
所　属　情報教育センターに所属するが，電子情報学科のカリキュラムも担当
専門分野　情報工学またはこれに関連する分野が望ましい．ソフトウェア工学の教育・研究ツールの開発，画像処理に意欲のある方なら分野は問わない．着任時当面はUNIX環境でのプログラミング教育やワークステーションのネットワークシステムの管理をしていただく．
応募資格　30歳以下，修士課程修了以上（博士課程中退可）で情報処理関連の教育に熱意がある方
着任時期　平成8年9月以降のなるべく早い時期
提出書類　履歴書，発表論文リスト，主要論文別刷，推薦書1通，本人について所見を求め得る方2名以上の氏名・連絡先
応募締切　平成8年6月15日（必着）
送付先　〒243 神奈川県厚木市温水428　湘北短期大学総務部総務部長　山本好敬
「情報教育センター教員公募書類」と朱書し書留
照会先　電子情報学科　落合　萌，金子一彦，小野博敏，北川盈雄　Tel.(0462)47-3131

●静岡大学工学部システム工学科

募集人員　教授1名および助教授（または講師）1名
担当科目　システム工学，シミュレーション技法，アルゴリズムとデータ構造
応募資格　ORもしくは情報処理を専門とし，両分野の教育に熱意があり博士の学位を取得している方（取得見込を含む）
着任時期　平成8年10月1日以降のなるべく早い時期
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷（コピー可），推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名，教育と研究についての抱負（2000字程度），教授または助教授（講師）の希望を明記
応募締切　平成8年6月28日
送付先　〒432 静岡県浜松市城北3-5-1　静岡大学工学部システム工学科　システム情報講座教授選考委員会（新妻委員長），システム情報講座助教授・講師選考委員会（新妻委員長）　「応募書類在中」と朱書し書留
照会先　新妻清三郎　Tel.(053)478-1201　e-mail:tasniiz@cng.shizuoka.ac.jp
その他　平成7年10月1日に発足した本学科は4大講座（システム数理，システム情報，環境システム工学，光電システム工学）で構成され，理工学研究科博士前期課程システム工学専攻，同後期課程システム科学専攻または電子科学研究科と積み上げられています．

●武蔵工業大学情報処理センター

募集人員　講師または助教授1名
所　属　武蔵工業大学情報処理センター
専門分野　情報工学，計算機工学，電子通信工学
応募資格　博士の学位を有し，大学院修士課程の指導力のある35歳位までの方
着任時期　平成9年4月1日
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷，健康診断書，推薦書（必須ではない），研究計画書（1000字以内）
応募締切　平成8年6月30日（適任者が得られ次第選考を開始する場合があります）
送付先／照会先　〒158 東京都世田谷区玉堤1-28-1　武蔵工業大学情報処理センター　教授　松山　実
Tel.(03)3703-3111(ext.2732,3470)　Fax.(03)5707-2169　e-mail:matuyama@ipc.musashi-tech.ac.jp

●宮崎大学工学部情報工学科

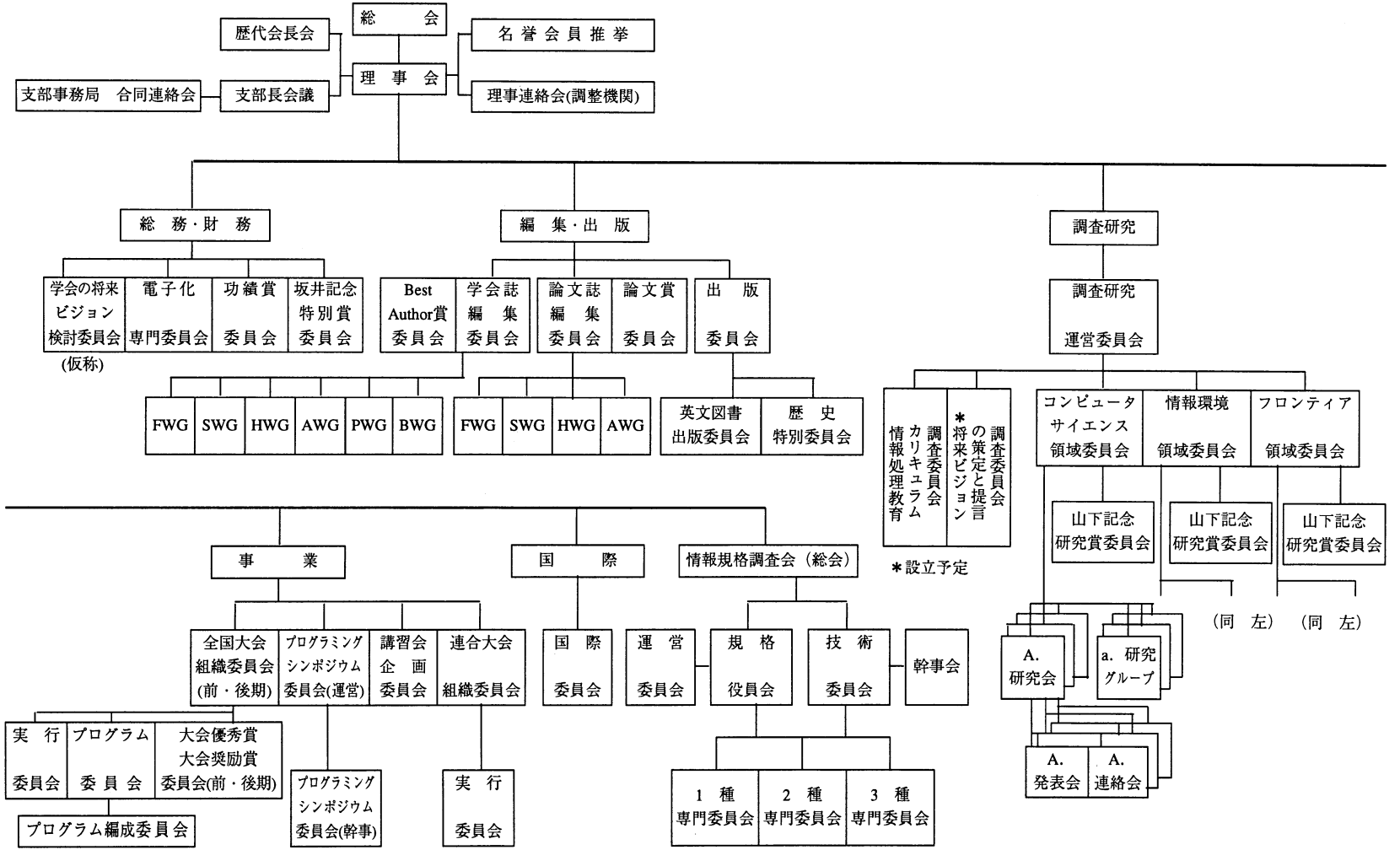
募集人員　助教授1名
所　属　情報工学科情報解析システム講座
専門分野　下記のいずれかの授業科目に対する十分な担当能力を持ち，神経回路モデル，複雑系力学，人工生命，あるいは音声認識などの分野に実績のある方
担当科目　「情報数学」および「オートマトンと言語理論」など
応募資格　博士の学位を有する，30歳～45歳の方
着任時期　平成8年10月1日
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷5部
応募締切　平成8年8月15日（必着）
送付先　〒889-21 宮崎県宮崎市学園木花台西1-1　宮崎大学工学部情報工学科　北添徹郎
「応募書類」と朱書し書留
照会先　Tel.(0985)58-2811(ext.4500)　Fax.(0985)58-0924　e-mail:kitazoe@eagle.cs.miyazaki-u.ac.jp

●法政大学工学部経営工学科

募集人員　助教授または講師1名
所　属　工学部経営工学科
専門分野　人間科学（認知工学，認知科学，認知心理学など）
担当科目　認知工学，ヒューマンインタフェース，認知心理学など（予定）
応募資格　博士の学位を有する方，上記専門分野における最近の業績が顕著である方，教育と研究に意欲のある方
着任時期　平成9年4月1日
提出書類　履歴書，業績リスト
応募締切　平成8年8月31日
送付先／照会先　〒184 東京都小金井市梶野町3-7-2　法政大学工学部経営工学科　永野　俊
「教官応募書類」と朱書し書留　Tel.(0423)87-6350　Fax.(0423)87-6126

平成８年度　情報処理学会　組織構成

平成8年4月1日　（社）情報処理学会



平成8年度 情報処理学会 事務局組織

E-mail ドメイン名 ：.本部 @ipsj.or.jp .規格部 @itscj.ipsj.or.jp

部・担当 E-mail	職位	氏名	E-mail	業務内容
	事務局長	飯塚 浩司	iizuka	事務局総括
総務部	総務部長	土川 佳男	tsuchi	総会，予算・決算，事業報告・計画，役員選挙，理事会，理事連絡会
総務 somu	担当部長	小倉 通利	ogura	名誉会員，功績賞，坂井記念特別賞，学会の将来ビジョン検討委員会
	顧問	杉山 昌二	sugiyama	支部長会議，文部省・学術会議等，総務・人事，庶務・給与・福利厚生
会員 mem	部長補佐	戸田 陽子	toda	個人会員，賛助会員，購読員，機関誌配布，支部会員資料
		老川ひろ子	oikawa	
		鮎川 修	ayukawa	
経理 keiri		細田 直子	hosoda	予算・決算，収支，出納
		五味奈津子	gomi	
図書 tosho		野寺 隆子	nodera	図書販売，庶務
システム企画 sys	主任	西形 伸次	nisikata	システム企画・開発・管理，電子化専門委員会
業務部	業務部長	菅野 元明	sugano	業務部総括
編集・出版	部長補佐	木村 保明	kimura	編集委員会，出版委員会，歴史特別委員会，広告，著作権
学会誌 editj		後路 啓子	ushiro	学会誌編集委員会，Best Author 賞，出版委員会
		湯本 祐子	yumoto	
論文誌 editt		岩瀬 良夫	iwase	論文誌編集委員会，論文賞
		島貫 英樹	simanuki	
調査研究 sig	主任	伊藤 早苗	ito	調査研究運営委員会，領域委員会・山下記念研究賞，調査委員会
	主任	中田志麻子	nakada	研究会，研究グループ，シンポジウム，ワークショップ，小規模国際会議
		萩原 恵子	hagiwara	文部省委嘱調査研究委員会，受託研究
		弘法堂京子	kobodo	JICST，学術情報センター
事業 jigyo		松本 浩二	matumoto	全国大会，奨励賞，プログラミング・シンポジウム
		塩谷 淳	sioya	連続セミナー，講習会，講演会，連合大会，協賛，後援
国際 intl	部長補佐	石丸 満枝	ishimaru	國際委員会，国際会議関係業務，IFIP 他
規格部	規格部長	及川 清	oikawa	（情報規格調査会事務局責任者）
規格	担当部長	三田 真弓	mita	・情報規格調査会（国際および国内の情報技術標準化）業務
	部長補佐	加藤 良子	kato	規格総会
	主任	廣瀬なるみ	hirose	規格役員会，運営委員会，技術委員会，幹事会
		木村 敏子	kimura	専門委員会－小委員会，情報技術標準化フォーラム
		峰崎 幸子	minezaki	国際会議 News Letter の発行，
		松下 宏子	matusita	国際 Secretariat（ISO/IEC,JTC1,SC23,SC29）
		春花 朋美	haruhana	奨励賞
		花石 律子	hanaishi	

（住所等）

本 部： 〒108 東京都港区芝浦 3－16－20 芝浦前川ビル 7F Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534
振込口座：名義人（社）情報処理学会 口座番号：郵便： 00150-4-83484，
銀 行： 第一勧業銀行 虎ノ門支店 普通 1013945，三菱銀行 虎ノ門公務部 普通 0000608
規格部： 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel.(03)3431-2808 Fax.(03)3431-6493